

1 議 事 日 程

〔令和5年太宰府市議会 決算特別委員会〕

令和5年9月13日

午前10時00分

於 全員協議会室

日程第1 認定第1号 令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	陶山良尚	議員	副委員長	長谷川公成	議員
委員	タコスキッド	議員	委員	馬場礼子	議員
〃	今泉義文	議員	〃	森田正嗣	議員
〃	入江寿	議員	〃	木村彰人	議員
〃	徳永洋介	議員	〃	船越隆之	議員
〃	堺剛	議員	〃	笠利毅	議員
〃	原田久美子	議員	〃	神武綾	議員
〃	小島真由美	議員	〃	橋本健	議員
〃	門田直樹	議員			

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（41名）

総務部長	高原清	総務部理事	轟貴之
市民生活部長	高原寿子	健康福祉部長	川谷豊
都市整備部長	柴田義則	教育部長	中山和彦
教育部理事	八尋純次	総務課長併 選挙管理委員会事務局長	佐藤政吾
経営企画課長	宮原竜	総務課長兼担当課長兼経営企画課広聴 広報担当課長兼メディア・ホームページ担当課長	杉山知大
文書情報課長	立石泰隆	管財課長	堀修一朗
管財課公共施設整備担当課長併 社会教育課教育施設整備担当課長	福田久博	防災安全課長	竹崎雄一郎
地域コミュニティ課長	宮崎征二	市民課長	今村江利子
税務課長	田代浩	納税課長	松田勝実
環境課長	高野浩二	人権政策課長兼 人権センター所長	河野貴之
国保年金課長	山口辰男	福祉課長	大谷賢治
生活支援課長	木村浩一	介護保険課長	柳谷雅子
高齢者支援課長	大山清敬	保育児童課長	伊藤健一
元気づくり課長	安西美香	子育て支援課長	高原真理子
ごじょう保育所長	江坂美輪	都市計画課長	古賀千年志
建設課長	齋藤実貴男	観光推進課長兼 地域活性化複合施設太宰府館長	西山英毅

国際・交流課長	松 井 百合子	産業振興課長	満 崎 哲 也
社会教育課長	井 本 正 彦	学校教育課長	鳥 飼 太
文化財課長	山 村 信 榮	文化学習課長	堀ノ内 龍 治
スポーツ課長	大 石 敬 介	会 計 課 長	添 田 朱 実
監査委員事務局長	添 田 邦 彦		

5 職務のため委員会室に出席した事務局職員の職氏名（5名）

議会事務局長	野 寄 正 博	議 事 課 長	花 田 敏 浩
書 記	木 村 幸代志	書 記	陣 内 成 美
書 記	三 舛 貴 市		

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の決算特別委員会を再開します。

審査に入ります前に、各委員からの質問及び執行部からの回答や説明につきましては、委員会の効率よい運営のため、簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、審査に当たりましては、事務報告書、施策評価、審査意見書、決算審査資料等を参照の上、審査をお願いいたします。

直ちに審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 日程第1、認定第1号「令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

お諮りします。

審査の都合上、事項別明細書の歳出から行いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 異議なしと認めます。

審査に入ります。

決算書80ページの議会費から入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、82ページ、2款総務費、1項1目一般管理費に入ります。

質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、確認です。83ページの防犯対策費、002の中の防犯カメラの設置工事なんですけれども、この内容を教えていただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 令和4年度、1か所3台、国分の鍛冶久地下道付近に3台設置しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、86ページ、2目文書費について質疑はありませんか。

木村委員。

- 委員（木村彰人委員） 86、87ページ、情報公開制度に関して、事務報告書が20ページです。20ページの情報公開制度・個人情報保護運営費の中で、これ情報公開の状況が一覧表になつてはいるんですけども、不存在というのが申請数の459件のうちの30%なんです、かなり多いんですけど、この不存在の主要な理由と、もう一つ、非公開が14件あるんですけども、これの主な理由をご説明ください。
- 委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。
- 文書情報課長（立石泰隆） お答えします。
- 文書不存在につきましては、文書そのものが存在しない場合と、保存年限を過ぎてしまって文書のほうがないという場合が考えられます。また、非公開につきましては、個人情報であったりとか、内容が施策決定に影響するもの等につきましては、非公開という形で回答をされているものと思われまます。
- 以上です。
- 委員長（陶山良尚委員） 木村委員。
- 委員（木村彰人委員） 確認なんですけれども、自治基本条例の審議会の中で不存在が多いというふうには指摘されていましたが、この139件、30%、かなり多いんですけども、本来あるべきものがないということはないんですよ。
- 委員長（陶山良尚委員） 文書情報課長。
- 文書情報課長（立石泰隆） ないと考えております。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは次に、3目法制費について質疑はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、88ページ、4目広報費について質疑はありませんか。
- 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 89ページ、広聴広報費なんですけれども、予算のときに市長と語る会11万8,000円が計上されていたと思うんですけども、決算額がないんですけども、この経過について理由を教えてください。
- 委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。
- 経営企画課広聴広報担当課長（杉山知大） 決算書のとおりでございまして、執行がなかったという結果的にはなっております。実際には語る会の実施は、昨年度は行っていないということでございます。
- 以上です。
- 委員長（陶山良尚委員） 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 理由をお願いします。
- 委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（杉山知大） 昨年はコロナ禍の中、明ける時期でもあったのですが、その中でこういった形で新しい形として語る会というか、市民の皆様方のご意見を聞くかというところを様々検討していた時期でもございました。なので、これからも含めてですけども、こういった形を持つのかというところを昨年はちょっと検討していたということがございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） コロナ禍で公民館で開催することがちょっと困難になって、中止になったりとかということがあったと思うんですけども、やはり市民の方は直接お話ししたいという声もやっぱり聞いていますので、ぜひできるだけ市長が自ら外に出て対話するというような形を検討していただきたいなというふうに思います。お願いします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目財政管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、6目会計管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、90ページ、7目財産管理費について質疑はありませんか。

財産管理費でいいですか、前の分。

（橋本 健委員「財産管理費です」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 91ページの004庁舎維持管理費、いいんですよね、これ。

○委員長（陶山良尚委員） はい、大丈夫です。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 事務報告書の同じく20ページで、電気、水道、ガス、光熱費です、要するに。光熱水費、これが昨年と比べて600万円弱増えているわけですね。よく内容を見てみると、水道、下水道、ガスはむしろ抑えてある、低くなっているんですね、令和4年度のほうが。見ますと、電気代がすごく増えているんですよ、600万円ぐらい。この理由を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） この電気料が増えている関係は、使用量については昨年度と比較しますと3万5,321kWh減っております。使用量自体は減っておりますが、燃料調整費という電気代に含まれる、要は化石燃料とかで火力発電する分の燃料代というのがかなり毎月のように上がっておりまして、その関係で令和4年度は600万円近く値上がりしている状況になります。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

○委員（橋本 健委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 003普通財産管理費の工事請負費、臨時工事なんですけれども、5,943万円。事務報告書の78ページの下のところ、臨時工事でいきいき情報センター1階の監視カメラ設置、それから交流スペース改修工事、そして高圧受変電設備等更新工事で、これが大きくて4,800万円ぐらいあるんですけれども、これはもともと予算が170万円ぐらいだったところが決算で額が大きくなっているんですけれども、これはその経過について伺いたいですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） この高圧電気設備等、交流スペースについては、令和3年度からの繰越明許予算になりますので、当初予算には計上されてないものになります。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） これの高圧変電の点検なんですけれども、これって年1回、月1回というの、もう通常行われているのでしょうか。確認で。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 点検につきましては、法令等に基づきまして行っております。これが施設の管理の財団のほうで行っております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにありませんか。

タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、003普通財産管理費、草刈等委託料の119万4,050円なんですけれども、これは庁舎の周りの草刈りとかそういうものですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） この分につきましては、管財課で管理しています庁舎以外の普通財産になりますので、多くある山林とかそういったところの草刈りになります。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） これ事務報告書にも載っていますので、参照してください。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、92ページ、8目契約管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、9目財政調整基金費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、94ページ、10目人事管理費について質疑はありませんか。
木村委員。

○委員（木村彰人委員） 96ページ、97ページ、18節、人事交流人件費負担金のところなんですけれども、これが決算審査資料のほうが8ページです。いただいた資料で、これ、本市受入れ分は西鉄と九電から部長級をそれぞれ1名ずつで1,648万4,000円、これが当市の負担なんですけれども、民間側、本市から職員を出したほう、西鉄、九電に一般職をそれぞれ1名ずつ、計2名出していますけれども、これ782万6,000円、これ人件費は受入れ側が負担したものなんですよね。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） おっしゃるとおりでございます。役職の違いによりまして、こういった金額の違いが出ている状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 本市が受け入れた2名の部長級の方の業務、仕事ぶりは、私たち直接見ているので分かるんですけども、本市から派遣した2名の一般職なんですけれども、これ目的としては、行政課題に柔軟かつ的確に対応するために必要な知識及び能力を有する人材を育成するためということではありますが、民間の受入先の配属部署はどこに配属されたのかということと、もうこれ派遣が終わっていますので、本市に帰ってきております。派遣が終わった後の本市での配置先というんですか、戻ってきた後の配置、どのようにその経験したことをこれ有効に使えるかということをしっかり生かしているかを確認したいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） 本市から派遣いたしました若手職員でございますが、それぞれの民間の会社で、例えばまちづくりの部門ですとか、そういった企画関係の部署に配属されておりました。戻ってきてからは、経営企画の部署、それから文書情報の部署等に配属いたしております。

いずれにいたしましても、若いうちに外に派遣で民間企業の業務なりを勉強するということが、それからそれだけではなく、外から太宰府市の状況等を俯瞰といいますか、外から太宰府市の状況を見るということは大変勉強になると思いますので、彼らにとりましては将来に役に立つ派遣であったと考えております。

以上でございます。

（笠利 毅委員「関連して」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 同じ審査資料で質問なんですけれども、これは人事交流による成果ということの資料要求の内容に対して、人材2名を受け入れたということと、2名派遣したという

ことで、これ内訳と実質的に同じなんですけれども、戻ってきた職員についてはこれからということであってもいいかとは思いますが、具体的にあちらから来てくださった方がいてくれたおかげでこのようなことができたというようなのが、本来の意味での成果かとは思いますが、ちょっとそれが書かれていないので、もし何かあれば紹介していただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） 民間から本市のほうに派遣で受け入れました部長クラスの職員でございますが、もちろん議会対応を含めまして、本市の行政事務に対しまして外部から新しい風といいますか、民間企業のやり方などをその担当業務だけではなく様々な場面で、例えば民間における業務の執行の仕方なりですとか、人事管理の仕方なりとかを教えていただけたと思っております。

それから、今派遣から元に戻っておりますけれども、貴重な太宰府市と民間の企業とのパイプといいますか、今それぞれの企業とは包括連携協定を結んではおりますが、よりその絆が深まったのではないかなと思っております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、96ページ、2項企画費、1目企画総務費について質疑はありませんか。100ページまでですね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 101ページの004総合企画推進費に関わると思うんですけれども、当初予算のときに、審査資料の11ページで、予算時に戦略的まちづくりの推進についてということで、予算額が360万円立っていたんですけれども、この事業、戦略的まちづくり推進の事業についての目的と実績で文書をいただいていますけれども、様々な会議、ビジョン会議、それから市民意識調査などを行われていますけれども、これは実際に施策に生かしていくという流れとしてはどのようになっているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 今委員ご質問のところでございますが、大きく分けまして総合戦略推進委員会、総合戦略の進捗を見ていただくとか、市のそれ以外の施策全般についてご意見いただくような会議、こちらの運営費用と、それからまちづくり市民意識調査、大きく2つの項目が該当するところでございます。

総合戦略推進委員会につきましては、令和4年度4回開催いたしまして、当然ながら総合戦略の進捗状況、そういったものを確認、それからグループに分かれていろいろなテーマについてご議論いただいたところです。

それから、まちづくり市民意識調査につきましては、毎年実施しておる2,000名を対象とし

た無作為抽出の調査になりますが、こちらはまちづくりの基礎的なデータ、資料として活用しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） そのまちづくりビジョン会議の中で総合戦略とも絡めての話になっていると思うんですけども、施策評価をいただいていますけれども、これに基づいて話を進めているというふうな形でよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） こちらの施策評価シートをお見せするという形ではございませんが、総合戦略全体のKPIとか数値目標がございますので、そういったところで進捗を確認いただき、新たな視点とかからのご意見をいただくということが主な内容になっております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 同じところに関してなんですけれども、2つぐらいに分けて言えるのかな。1つは施策評価のことなんですけれども、総合戦略推進委員会がまちづくりビジョン、総合戦略の評価を受け持つという位置づけがあらうかと思うんですけども、併せてワーキンググループというのがあって、総合戦略の策定の調査であるとか評価であるとかということをするというふうに規定があるかと思うんですが、両者の評価の仕方の関係、どのようにつながるのか。今のお話ですと、この施策評価も総合戦略に基づくような形になっているので、これをワーキンググループが担当したのかなと受け取ったんですが、ちょっとその辺の関係を教えていただきたいというのがまず1つ。

○委員長（陶山良尚委員） まずいいですか、それで。

経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 委員おっしゃられるワーキンググループというのが、昨年ビジョン会議でグループで議論した内容のことでしょうか。それとも庁内のワーキンググループの。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 庁内で規定のあるやつですね。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） ワーキンググループといいますのは、基本的には総合戦略の策定の際の庁内の議論するところの場ということになりまして、恐らくは次期総合戦略、現在の戦略が令和6年度までになっておりますので、次期戦略を策定するときに必要に応じて動かしていくところという位置づけになっております。

ビジョン会議のほうにつきましては、外部の委員さんで構成されておりまして、現在の進捗とか、もちろん策定の際にもご意見いただくことになろうかと思いますが、大まかな位置づけ

としては以上のような形になります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） この点に関しては確認したいことになりますけれども、ということは、施策評価自体は担当課で行ったものが、こうしてまとめられているというふうに理解しておいてよろしいということですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） ご指摘のとおりでございます。

（笠利 毅委員「それともう一点」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 決算書でいうと、101ページに総合企画推進費の中に会議録作成委託料11万3,619円ですか、これは総合戦略会議の会議録というふうに事務報告書になっていたかと思うんですけども、予算がこれ42万円ほどあったんですが、4分の1ほどしか使われていないその事情を説明していただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 執行状況につきましてはご指摘のとおりでございまして、令和4年度は8回分の開催の予算を計上しておりましたが、結果といたしまして半分の4回の開催ということでこのような状況になっております。理由といたしましては様々あるんですが、なかなかこちらの準備の関係ですとか議題の調整とか、そういったところに時間を要しまして、結果として必要な4回を開催させていただいたというところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 8回が4回であれば約半額というふうに普通考えるんですけども、4分の1なのでお尋ねするんですけども、この会議の会議録が要点筆記、要点だけが出ているんですよ。もともと要点だけを会議録として残すつもりであったのか、それともそれこそ全文収録のような形のものを考えて予算を組まれていたのか、そこをお聞かせください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 全文を一応一旦書き起こしていただくということでの予算となっております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということは、8回が4回になったにもかかわらず、大幅に安くなっていた事情というのがちょっとよく分からなくなってしまうんですけども、その辺は何か。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 単価の時間数に応じた支払いということになっておりまして、その関係でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） ということで事情は理解しましたので、どうしてこういうことを聞いたかということ、今年が46万円の予算がたしかついでいて、ということはほぼ同じ8回分ぐらいを想定しているかと思うので、有効に使っていただきたいと、それに尽きます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 101ページの下のほう、古都・みらい基金積立金ですね。これは寄附があったからこの346万9,966円を基金に積み立てたというその内容と、累計額を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 古都・みらい基金の積立てにつきましては、個人からの賛同していただいた方からのご寄附と、あとふるさと納税の用途の一つとして設定しておりまして、そちらの合わせたものを積み立てているという状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それと、事務報告書の12ページに基金がずっと羅列されております。明示されておりますが、そうすると古都・みらい基金はその他に入るのでしょうか。12ページ。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） その他に分類されております。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それで、その下の令和の都太宰府ふるさと納税基金積立金、これを新しくつくられました、令和4年度から。それで、1億円という。このつくった目的と用途、使い道、これからどういうふうにするんだという構想がありましたら聞かせてください。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） こちらの基金につきましては、令和4年度に設立させていただいた基金になりますが、令和の都のまちづくりに活用するというところでうたっておりますが、内容といたしましては、主に新たな行政需要、こういったものに対応するための基金というふうに想定しておるところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 96、97ページからのところで、ちょっと決算書ではっきりしたどこに入るのかよく分からなかったんですけども、審査資料の9ページに、2款2項1目、細目001のところ マイナンバーカードについての資料要求がなされているかと思うんですが、ここで取得数とかその他もろもろ数字をいただいているんですけども……。

○委員長（陶山良尚委員） マイナンバーは先にありますけれども。

○委員（笠利 毅委員） 後にしますか。

○委員長（陶山良尚委員） 後でありますので、ちゃんと項目が。

○委員（笠利 毅委員） 後でもいいです。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、後でいきましょう。

ほかにはありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 101ページ、004総合企画推進費の13の使用料及び賃借料の位置情報データ分析ツール使用料なんですけれども、これは予算額そのまま220万円なんですけど、当初のときに、回遊性の向上や交通施策、それから都市計画の分野における政策立案につなげるというようなことが書いてあるんですが、これ実際どういうものに生かされたのかというのを教えていただきたいんですけれども、例えば何か計画、個別計画とかというのに利用したとか、何かそういうことがあればというのが1点と、あと一つは、オープンデータとして使えるかというのを伺いたいと思います。2点です。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） こちらの内容につきましては、決算審査資料の9ページ下半分ぐらいに掲載しているところでございますが、携帯電話の位置情報を活用した人の動きを測定するようなシステムの使用料ということになっております。令和4年度の途中から導入いたしまして、まだまだこれから一層活用していくという段階ではあるんですが、令和4年度中の活用実績をそちらに記載しております。例えば主要な観光スポットの来訪者の人数ですとか属性、男女、年代、滞在時間、こういったものを定期的集計して分析。活用というところはこれらになります。そういった分析をしております。また、史跡地の来訪者の人数、属性、年に何回ぐらい訪問しているかとか、それから3点目がイベント実施日にどれぐらいの人が来たかとか、どこから来たかとか、そういったことを測定しているというところで、令和4年度の実績として主なものを上げさせていただきました。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。もう一点あった。

経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 申し訳ありません。2点目のオープンデータのほうですが、こちらはオープンデータとして公開することは可能にはなっております。ただ、それは今のところ、こういった形でやるのかとか、実施するかどうかも含めましてまだ検討段階ではございますが、可能かどうかということでございましたら、可能でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） すみません、審査資料の今説明いただいた9ページの下のところ、財

源が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金になっているんですけども、すみません、令和5年度をちょっと見ていなかったんですけども、令和5年度もこれ継続の事業になっていますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 令和5年度も引き続き継続して使用しておりますが、財源は一般財源ということで取扱いをさせていただいております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 同じく関連して、これ位置情報データ分析ツール使用料なので、これ委託料ではないんですよ。使用料なんで、これ業者に委託というんじゃなくて、自分の市で職員が直接このデータを操作して整理するということになるかと思えますけれども、いかがですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） ご指摘のとおりでございます、ウェブ上で職員がそこにログインをして使用するというシステムになっております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ということだと、これ年間220万円ってすごく高いですよ。これ、かなり使いこなさないと、年間220万円というのはコストパフォーマンスが非常に悪いんで、これを活用することはすごくいいことだと思うんですけども、どれだけこれ、今審査資料で載っているこれだけじゃちょっと厳しいんじゃないかなと。これからのこれを使いこなす、使い倒す方向性というか、その考えをちょっとお聞きしたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） ご指摘のとおり、貴重な財源でございますので、決して安価なものではないと認識しております。ただ一方で、様々な滞留時間の調査とかをマンパワーを使ってしますと、やはり数百万円というコストがかかる。そういったことを踏まえて、これだけの費用をかける価値があると判断して導入したものでございます。

ただ一方で、令和5年度、これから以降もさらに活用して、例えばこれがいろいろな施策を展開するとき、数値的な合理的な根拠がある、それに基づいて政策を立案していくと、これのベースになるその考え方のきっかけといいますか、そういうところで職員に広く使うように、本年度においても研修等を行って導入して広げていこうと頑張っているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 要望ですけども、これ220万円使うのであれば、先ほどオープンデー

タという話もありましたけれども、これ分析した結果をホームページで公開するなりして、さらにこれ、こういう形で年度成果を上げたという形を残されたほうが、我々220万円の効果という形ですときますので、それをお願いしたいと思います。

(笠利 毅委員「もう一ついいですか」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) 関連して、それとも別。

(笠利 毅委員「別です」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) まず、小島委員のほうから。

○委員(小島真由美委員) すみません、101ページのグッズ販売委託料が入っているんですが、このグッズ自体が何種類ぐらいあって、私たちもちょっとよく目に留まることがないんですが、どのような使われ方を、この販売委託というところはどんな販売の方法をしてあって、私たちが目にするのはどこで見たらいいのかなというのをちょっと教えていただきたいのと、もう一つ、すみません、ふるさと納税基金積立金は、これは運用方法は普通預金でしょうか、国債でしょうか。すぐ使おうという形で普通預金に置いてあるのか、そこだけ教えてください。

○委員長(陶山良尚委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(宮原 竜) まず、グッズ販売手数料ですが、こちらは令和のクリアファイル、ご覧になられた方も多いと思います。あちらを古都保存協会と観光協会で販売しておりまして、令和4年度末でもう販売は中止したんですが、そこに対しての手数料ということで、クリアファイルの分ということになっております。

(小島真由美委員「クリアファイルのみ」と呼ぶ)

○経営企画課長(宮原 竜) そうでございます。

○委員長(陶山良尚委員) それともう一点。

経営企画課長。

○経営企画課長(宮原 竜) もう一点です。ふるさと納税基金につきましては、ちょっとお待ちください。債券ではございません。定期預金か普通預金かどちらか。基本的には定期預金ということになっているかと思えます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

そしたら、笠利委員。

○委員(笠利 毅委員) 決算資料の10ページに太宰府市応援団の創設についてとありますけれども、費用がかかってないということなので、決算書には数字が出てないのかとは思いますが、1つ気になったんですけれども、交通費等が発生するようなことはこれは考えられてないのかということのをちょっと教えていただければ。謝礼については要綱に規定があったかと思うんですけれども。

○委員長(陶山良尚委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(宮原 竜) 応援団につきましては、要綱にございますとおり、基本的に無報酬ということで、こちらは通常の例えば著名人の方であれば、私が大使をやっていますというよ

うな通常の活動の中でPRをしていただくとか、場合によってはテレビ番組等で告知していただいたこともございます。そういった通常の活動は無報酬で、交通費等もお支払いは令和4年度については一切しておりません。

ただし、今後について何か特定のイベントとかに出演者として出ていただくようなことがあった場合には、やはり時間とか距離とか、東京にお住まいの方も今はいらっしゃいますので、そういったところは必要な経費として支払うということは、今後可能性としてはあるかなと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 要綱では、謝礼を支払う場合が市長判断でというような形で定めがあったかと思うんですけども、じゃあ旅費等も謝礼に含めるような形で支払うことがあるだろうというふうに受け止めておけばよろしいですかね。それとも旅費等は別建てでというふうになるのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） これは大使の方お一人お一人、個人の方もいらっしゃれば、事務所に所属していらっしゃる方とかありますので、その時々には支払いの方法というの、交通費と謝礼的な要素を含んだものをお支払いするというのもあると思いますし、個別に旅費のみお支払いするというのもあるかと思えます。そこはこちらのイベントに出ていただくときの交渉といいますか、そこを調整してやっていくということで考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 先ほど木村委員のほうからの質問で、シティプロモーションツール作成委託料、これ今回は225万円なんですけど、前年に150万円。70万円近く上がっているんですけども、その要因だけちょっと教えていただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 令和4年度につきましては、手提げ袋、これはビニールとか紙ですね、これを数千枚作っておるところが一番大きな支出の増の要因となっております。それから、タビットの縫いぐるみ、小さい縫いぐるみは見られた方も多いと思うんですけど、少し大きめなものも使いまして記者会見等で活躍しているところでございます。こういった手提げ袋については、今後数年かけて使っていくということで、全て使ってしまったというわけではございません。

以上でございます。

（船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連してシティプロモーションについてお聞きしたいんですけども、シティプロモーションというのがこのシティプロモーションツール作成委託料にしかないん

で、ここでお聞きしたいんですが、太宰府市のまちの魅力を伝えるという意味での本当のシティプロモーションですね、これ広報広聴の話かもしれませんが、このグッズ製作とかじゃなくて、例えば子育てするなら流山みたいな形でまちの魅力を発信する部分、そこら辺どういうふうにやられたのかをちょっと教えていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（杉山知大） シティプロモーションという定義がどういう形づくりでいくかというところはいろいろあると思うんですけども、太宰府市で行っておりますいわゆるシティプロモーションというのは、まず入り口としては、どのように伝えることが伝わるのかというところをまずは主眼に置いておりますので、それはどういった分野にもかかわらず、市からの情報発信において、どのような伝え方がまず一番効果的に伝わるのかということを総合的に見るような形で、今のところ展開しているということでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 内容は分かったんですけども、具体的にどういう形でそれを発信していらっしゃるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課広聴広報担当課長。

○経営企画課広聴広報担当課長（杉山知大） まずは既存の様々な媒体、広報も含めて、電子媒体もございまして、これらをどのように効果的に伝えるのかというのを、既存のツールをどのように活用するのかというところをまず主眼に置いて展開しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に参ります。

2目公文書館費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目交流費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） では、104ページ、4目男女共同参画推進費について質疑はありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 001男女共同参画推進費の女性に対する暴力相談業務委託、女性相談業務委託料なんですけれども、事務報告書の22ページ、ちくし女性ホットライン、これは筑紫地区の5地区の中でのDVに関する対応をするところなんですけれども、うちのほうで女性相談員がいらっしゃるんですけども、その相談員で対応できない部分をそちらに回す感じなんですしよ

うか。

そして、相談件数総数の233件中、太宰府24件という結構少ないな、それはいいことではあるんですけども、その業務委託料からの費用対効果はどうなのかなということと、あと、ちくし女性ホットラインに対応していただいた後の対応というか処理というか、そういったものはどうされているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） まず、ちくし女性ホットラインでございますが、こちらのほうは筑紫地区5市共同で実施の上、委託をしております、名前のとおり電話相談でございます、この内容になります。費用対効果でございますが、もう5市それぞれこの金額、人口とか件数に関わりなく1市当たり81万9,000円一律でございます。

それから、相談した後のつなぎでございますが、取りかかりが電話相談でございますので、内容に応じましてはこの太宰府市の専門の女性相談員、あるいは状況に応じまして福岡県女性相談所、県の配偶者暴力相談支援センター、筑紫保健環境福祉事務所等、関係機関につながりということで処理を実施しているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。それとすみません、ごめんなさい、報告書のあと一件、太宰府市分受付分376件って、これは何のことでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 人権政策課長。

○人権政策課長（河野貴之） こちらのほうは、令和4年度から新たに始めました女性相談員委託料ということで、人権政策課に常駐している相談員あるいは職員が受けた数でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目地域づくり推進費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 審査資料2ページ、コミュニティバスの運行状況について資料をいただきました。同じような資料が広報「だざいふ」9月号にも載っているんですけども、それと違うところが平均乗車密度、これ毎回いただいております。平均乗車人数よりもかなり路線のその状況が分かるんで。もう一つ、利用者1人当たりの経費というのもいただきました。これを見ると、まほろば号100円に対して約半数が500円以上の経費がかかっています。それで、地域線については150円に対してほぼほぼ700円以上、900円以上、これ連歌屋が1,900円という形になっていますので、これ非常に、一般質問でも一部の議員から、公共交通については、特にまほろば号については改善が求められているところなんですけれども、この広報9月号でも、市の方針としては乗ってくださいというようなことが結論だと思うんですが、この資料を見た

ところで、これからのプロジェクトチームの検討の方向性、どういうふうに進んでいくかということをおまじょと教えていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） まほろば号の運行についてでございますけれども、様々なところでいろいろ説明しているんですが、今全体的にというか、市の交通全体的な中で、当然路線、運賃、あと高齢化とかという社会情勢の変化もやっぱり見られますので、その中で一体どういった交通が市の中でふさわしいというか、まずは展開していくべきなんだろうかという視点を持って、まほろば号も含めて検討しているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかには。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、106ページの一番上、バス停留所等整備工事費なんですが、事務報告書85ページの竈門神社のバス待合所の台風被害の復旧で使われているようなんですが、被害状況を教えていただきたいのと、老朽化による工事というのは大体毎年やっていたように思うんですが、そういったところは令和4年度は何もなかったのかどうか、地域住民、自治会からの要請があっているかどうか、そこら辺も教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） まず、バス停留所整備工事の竈門神社のバス停なんですが、バス待合所のほうが木製で造っているものなんですが、そちらが昨年発生した台風14号の影響により破損というか、基礎を残して上のほうが風で飛んだというふうな状況でございました。全損というような形で。それを復旧ということで、同じような風貌というか、形で復旧をいたしておりますが、基礎の強化であるとか風の抜きの改善をいたしまして、同じように復旧したということが支出の内容になっております。

バス停自体の古くなってということところは、昨年度令和4年度にはございませんでした。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、船越委員。

○委員（船越隆之委員） いいです。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

ほかにはありませんか。

そしたら、じゃあ馬場委員が先に。

○委員（馬場礼子委員） 003地域コミュニティ推進費の中の高齢者向けスマートフォン講座、これは私、この前も去年も聞いたと思うんですが、どのくらいの規模で、地区限定とか、そういった形でされている感じでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） こちらに記載しております決算額については、市が直接お支払いして自治会において行われたというところで、この決算額的には2つの自治会で、1講座大体20人ぐらいになるんですけれども、3回ずつ2つの自治会で行ったという結果でございます。

そのほかの状況を申し上げさせていただきますと、総務省の事業で事業者と共に太宰府市が連携してやっているスマートフォン講座と、あと自治会と携帯会社さんが連携してやられている講座で、大体昨年度で15ぐらいの自治会で行われているといった状況でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。そうですね、こちらはもっと広めていただきたいなというのと、あとやっぱりせめてホームページとか、LINEとかを高齢者の方が開ける、せめてこれをちょっと徹底していただけたらなと思います。よろしくお願いします。

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、関連。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 馬場委員の質問と一緒になんですが、高齢者向けのスマートフォン講座の委託料、これは今、各自治会の公民館でされているということですが、これを指導しているメンバーですか、大体何人ぐらいでこれを指導されているんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） こちらの市のほうで委託している分については、3名から4名。やはり操作に不慣れな方ですので、説明する人と、巡回をしながらサポートしていくという形でさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） であれば、トータルで年間というか、年間で何名ぐらいの人数でされているわけですか。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 3回の3人で1か所9人、10人ということで、20人ぐらいの延べスタッフ数ということでいいかと思います。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） この委託料はスタッフの費用弁償みたいなものですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長（宮崎征二） 委員おっしゃるとおり、大部分がスタッフの人件費ということになります。あとは資料代とか、参加者の保険代とか、そういったところに入っていきます。テキスト代とかですね。

以上です。

(船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) そしたら、神武委員。

○委員(神武 綾委員) コミュニティバスの運行補助金、それから支援金のところですけども、県の補助金が歳入の59ページ、生活交通確保対策補助金の1,000万円が、このコミュニティバス運行支援金1,000万円に当たるということでよろしいでしょうか。

ということが1つと、あと県の補助金が1,000万円というのが、多分ずっと変わってないと思うんですけども、県の方向性としては、何か増額するような検討がされているとか、何かそういう情報とかあるんでしょうか。そこら辺少しお聞かせください。

○委員長(陶山良尚委員) 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長(宮崎征二) まず、支援金1,000万円についてなんですけれども、こちらには財源はコロナ交付金が当たっております。委員おっしゃった歳入の生活確保対策補助金については、運行補助金のほうに当たっているということでございます。

この1,000万円の額なんですけど、実は制度的に1,000万円が1市町村の上限でございまして、上限に達しているということでの1,000万円がずっと続いている状況でございます。

この市町村への支援ということに関しまして、いろいろな市長会でありますとか都市圏でありますとか、いろいろな団体を通じて支援の拡充というのを要望しております。今のところ拡充されるというお声は聞いておりませんが、要望は繰り返しているところでございます。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) ほかにありませんか。

船越委員。

○委員(船越隆之委員) 107ページの003の地域コミュニティ推進費の14節ですかね、これは行政区の掲示板設置工事というのが116万円で、前年は24万6,000円なんですけど、これだけ上がった理由をちょっと教えていただけますか。

○委員長(陶山良尚委員) 地域コミュニティ課長。

○地域コミュニティ課長(宮崎征二) 行政区の掲示板設置工事なんですけれども、各行政区のほうにポスターであるとかいろいろなお知らせを貼っていただくような、1行政区に数個あるんですけども、やはり結構古いもの多くて、修繕とかで使っていたんですけども、やはり替えられたいというご要望もあまして、そういったところで、いろいろな事情で移設をしたりとか、当然台風で壊れたものもありますけれども、そういった要望箇所、工事箇所が一時的にちょっと多かったという年でございまして、昨年度の比較で増えたということでございます。

以上でございます。

(船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ)

- 委員長（陶山良尚委員） ほかにはよろしいですかね。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、3項徴税費、1目税務総務費について質疑はありませんか。次のページまでですね。
（「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは次のページ、108ページ、2目賦課徴収費について質疑はありませんか。
徳永委員。
- 委員（徳永洋介委員） 109ページ、001賦課事務費の事務報告書では24ページになると思うんですけども、市民税と固定資産税、令和4年度が市民税が5,400万円程度、固定資産税については約1億7,000万円程度増額しているんですけども、その要因が分かれば説明していただきたいのと、5年先ぐらいまでこの税収がそのまま維持なのか、増額する見込みなのか、もし分かれば教えてください。
- 委員長（陶山良尚委員） 税務課長。
- 税務課長（田代 浩） 固定資産税が増えている理由になりますけれども、コロナ対策で中小事業者に対する軽減措置が令和3年度にはございました。これが令和3年度のみでしたので、その分が増えているというのが主な要因でございます。
この先の先行きというのは、経済状況、それから社会状況がまだちょっと不透明な状況ですので、今後どうなるかということについてはまだちょっと読めない、不透明な状況ということでございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。
- 委員（徳永洋介委員） マンションができたりとか、結構新しいおうちが建ったりとかして、太宰府市の固定資産税自体が上がったというわけではないんですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 税務課長。
- 税務課長（田代 浩） 令和4年度につきましては、先ほど言った理由というのが主な理由です。多少、建て替えでありますとかそういったのもございますので、そういったものもございますが、主な理由としては軽減措置の影響ということでございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。
- 委員（徳永洋介委員） もう一つ、たばこ税がかなり増額していて、4億2,000万円ですか。もうちょっと喫煙者に対して温かい目が欲しいなと思うんですけども。これは本数が着実に伸びているということですか。
- 委員長（陶山良尚委員） 税務課長。
- 税務課長（田代 浩） 令和2年度までは、増税になるごとに売上げ本数は減っておったんですけども、令和3年度以降増えているという状況はございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 徳永委員。

○委員（徳永洋介委員） すみません、もう一点。決算とあまり関係ないんですけども、10月から450円のたばこが400円にとか、530円のたばこが550円とか、10月から、コンビニに貼ってあったんですけども、たばこの値段が変わると。3級たばことか、そういう国からの法的に何が下りてきているんですか。あまり決算に関係ないんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 決算には関係ないけれども、税務課長。

○税務課長（田代 浩） 今年度はたばこ税の増税は予定されておられません。それ以外の要因かと思えます。

（徳永洋介委員「値段が変わるんで」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。よろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 監査委員の審査意見書、その12ページ、これは市税収入の状況年度別比較表、これを見ると、令和4年度は97%ですよ。これ、平成30年度からずっと書いてあるんですけども、97%、かなり高い数字だと思います。実際、コロナの状況で納税者としては払うのが難しい人が多いんじゃないかと思って、ここら辺非常に苦勞するところだと思うんですけども、これ97%、市民税に至っては99%ですよ。これはすごく頑張っていると思うんですけども、ここら辺、何かコメントすることはございますか。

○委員長（陶山良尚委員） 納税課長。

○納税課長（松田勝実） こちらの収納率ですけども、私どものほうも滞納処分等を随時実施しておりまして、特段厳しいというようなどころではなく、積極的な預金調査等で実施しております。やはり収入が困窮されてある方とかそういった方々は執行停止ということで、執行停止額も上がっておりまして、特別お困りの方から徴収しているというようなことではございません。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に参ります。

110ページですね、4項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費について質疑はありますか。114ページまでですね。

マイナンバーがありますけれども、笠利委員。ここでお願いします。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 112、113ページの住民基本台帳事務費、12節委託料のマイナンバーカード申請サポート委託料に関することかと思うんですが、決算審査資料の9ページに、過去5年間にわたって取得数とかその他いろいろ資料を出していただいているんですけども、マイナンバーカードは10年更新だったかと思うんですが、何か中の電子証明書が5年更新だということで、その辺の周知であるとかお知らせとかといったようなことがなされているのか、そのあ

たりのことをちょっと事情を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（今村江利子） 委員おっしゃるとおり、大人の方はマイナンバーカード自体が10年間、15歳未満の子どもは5年間のマイナンバーカードなんですけれども、大人の方は5年ごとに中の電子証明書の更新があっっていますけれども、その3か月前から行うことができるんですけれども、周知といたしましては、交付をするときに、そういう更新がありますよというふうにお知らせしていること以外にも、国のほうから3か月前程度に更新のお知らせが直接その方のおうちに届くようになっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） では、市のほうで例えば今年度どれだけの人の更新期を迎えて、どれだけの人がきちんと更新をしたかとかといったようなことは把握できるような形にはなっているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（今村江利子） 市のほうでの把握のほうはいたしておりません。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） これをお尋ねしたのは、ちょっとどこのまちか忘れましたが、SNSだったか広報だったかちょっとはっきり覚えてないですけれども、市のほうからもそう促して、把握に努めているという事例もあるようなので、お尋ねしました。

それと、同じくマイナンバーカードに関わることなんですけど、ちょっと心配があるので、もし答えられるならでいいんですけれども、7月に共同通信が全国の自治体に、マイナンバーカードのことであるとかマイナ保険証がどうなるかといったことについてアンケートを取って、事務の負担感といったようなことを調査しているんですけれども、太宰府市はまずそのアンケートに答えたのかというようなことが分かれば。もし答えたのであれば、太宰府市としてはマイナンバーカードをめぐる事務の負担感のようなものにどのように返答されたのか、よければちょっと聞いておきたいと思うんですけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） そちらのアンケートにつきましては、今、答えたかどうかを含めて、ちょっと所管等がある関係で、調べまして後ほど回答ということによろしいでしょうか。

（笠利 毅委員「はい」と呼ぶ）

○経営企画課長（宮原 竜） 以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 113ページ、一番下のコンビニ証明書交付運営負担金272万8,000円、これの納付先と、コンビニの取扱件数、ちょっと詳しく具体的に教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（今村江利子） 272万8,000円の納入先ですけれども、地方公共団体情報システム機構、いわゆるJ-LISのほうにお支払いしています。こちらは人口規模によって決められておりまして、272万8,000円というのは、人口が5万人以上15万人未満、本市のように7万2,000人の規模のところがこの金額になっております。

コンビニ交付の件数、証明書の枚数でよろしいでしょうか。

（橋本 健委員「はい」と呼ぶ）

○市民課長（今村江利子） 令和4年度についてよろしいでしょうか。令和4年度については1万353枚交付、1日当たりの交付数は28枚でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 太宰府市内のコンビニ全て取り扱っているということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（今村江利子） 太宰府市に限らず、全国のコンビニで取得できますので、よろしくお願いたします。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 証明書発行は、やはり住民票がかなり多いと思うんですが、印鑑証明書もオーケーでしたよね。

○委員長（陶山良尚委員） 市民課長。

○市民課長（今村江利子） 太宰府市のほうでコンビニ交付できる種類といたしましては、住民票の写し、住民票記載事項証明書、委員おっしゃるように印鑑登録の証明書、課税証明書、所得証明書、戸籍の全部事項証明書、戸籍の個人事項証明書、戸籍の付票といったところですが、一番多いのは委員ご指摘のとおり住民票の写し、2番目に印鑑登録証明書となっております。

（橋本 健委員「ありがとうございました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目の住居表示費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、114ページ、5項選挙費、1目選挙管理委員会費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 続きまして、2目選挙常時啓発費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目……。

神武委員。

- 委員（神武 綾委員） 1つ戻っていいですか。
- 委員長（陶山良尚委員） はい、どちらですかね。
- 委員（神武 綾委員） すみません、1つ戻ります。115ページの001参議院議員通常選挙費。
- 委員長（陶山良尚委員） そこはこれから。
- 委員（神武 綾委員） これからですか。
- 委員長（陶山良尚委員） これから。じゃあ、質問待ってくださいね。
- それじゃあ、3目参議院議員通常選挙費について質疑はありませんか。
- 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 職員手当等についてですけれども、予算額が1,200万円だったと思うんですけれども、決算額が768万円ということで500万円ぐらい抑えられているんですけれども、この内容についてお願いします。
- 委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。
- 選挙管理委員会事務局長（佐藤政吾） 参議院議員通常選挙におきます職員手当等でございますが、こちら内容は事務局職員の時間外勤務手当、それから投票開票事務に従事していただいた職員、投開票事務従事者手当となっております。あくまでも時間外勤務手当になりますので、なるべく時間外勤務手当を抑える方向で職員が頑張った結果かと思っております。
- 以上でございます。
- 委員長（陶山良尚委員） 神武委員。
- 委員（神武 綾委員） 何か処理方法を変えたとか、システムを変えたとか、そういうことはあるんでしょうか。そのことによって手当が抑えられたというようなことなんでしょうか。
- 委員長（陶山良尚委員） 選挙管理委員会事務局長。
- 選挙管理委員会事務局長（佐藤政吾） 大きく変更したという内容はございません。
- 委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね。4目県知事及び県議会議員一般選挙費について質疑はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、118ページ、6項統計調査費について質疑はありませんか。1目統計調査総務費、併せて基幹統計調査費について質疑はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、7項監査委員費、1目監査委員費について質疑はありませんか。
- （「なし」と呼ぶ者あり）
- 委員長（陶山良尚委員） それでは、11時20分まで休憩いたします。
- 休憩 午前11時12分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午前11時20分

○委員長（陶山良尚委員） 再開します。

それでは、120ページ、3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費について質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、金額については若干減額になっていますのでいいんですけども、現在の定数と委嘱数、現員数と欠員数を分かれば教えてください。ごめんなさい、121ページの細目002民生委員等関係費、800万円ですかね。今年度の予算ではちょっとまた増額されていますので、戻ってきているのかなと思っていますので、現員数と現状をちょっとお知らせください。

○委員長（陶山良尚委員） 福祉課長。

○福祉課長（大谷賢治） 民生委員の数につきましては、定数が101名、現在欠員が6名出ておりまして、95名が現数となっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、126ページ、2目老人福祉費について質疑はありませんか。

（神武 綾委員「戻っていいですか」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） どちらですかね。

○委員（神武 綾委員） 125ページ、007生活困窮者自立支援関係費の12の委託料、補助金かな、なんですけれども、事務報告書28ページの生活困窮者自立支援関係費の3番目に、生活困窮者支援活動等補助金というのがあるんですけども、これは子ども食堂とか活動されている方に対しての補助金だったんですけども、交付団体がゼロということになっているんですけども、これゼロ件というのは、活動団体は少し増えているというふうに聞いていたので、ゼロというのがどういうことだったのかというのと、そこら辺をちょっと聞かせていただきたいと思えます。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） こちらは、令和4年度につきましてはゼロ件という形になっております。団体数が増えたのは、令和5年から団体数が6団体から9団体のほうに増えているところですよ。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 補助金を出すということで予算化されていたんですけども、ゼロ件ということ、もう支出がなかったということになるんですが、実際に申込みされなかった理由というのは何か聞かれていますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） こちらは理由については伺ってはおりません。

○委員長（陶山良尚委員） そうでしたら、進みます。

2目老人福祉費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、130ページ、3目障がい者対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目障がい者自立支援費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 続きまして、134ページ、5目援護関係費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうでしたら、136ページ、6目重度障がい者医療対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、7目ひとり親家庭等医療対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、8目後期高齢者医療費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、9目国民年金費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、138ページ、10目人権政策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、140ページ、11目人権センター費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） では、142ページ、2項児童福祉費、1目児童福祉総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目児童措置費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、148ページですね。3目教育・保育施設費について質疑はありませんか。これもずっと行きますと152ページまでですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、152ページ、4目学童保育所費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 事務報告書の36ページ、学童保育所管理運営費で入所人員の一覧表があるんですけども、その真ん中あたり、水城第一学童保育所、第二学童保育所、第三学童保育所が、これ定員に対して平均人員が超過しているんですね。70人に対して74人、40人に対して54人、40人に対して48人、これ平均なので、瞬間的にはもっと多い、夏休みとかは多いんでしょう。けれども、これ平均がかなり定員をオーバーしているので、かなりこれ、現場のほうはかなり窮屈な、もしくはいろいろ苦勞されているんじゃないかと思えますけれども、こちら辺、指定管理者のほうからどういうふうな報告があっているのか、それに対してどういうふうになされる予定なのかをお聞きしたいですが。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 定員数に対する入所数に関しましては、指定管理者と十分協議の上、決定しております。また、夏休み等については、これ以外に臨時的に教室を借りておるといふ事情もございます。

あと、今後の方針につきましては、関係課あたりと、学校教育課もそうですし、しっかり協議しながら今後の学童保育所の整備について検討しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 003教育・保育施設費のところの施設等利用給付金、事務報告書の35ページで、例えば大刀洗のショートステイというのは一時預かり事業のほうに含まれるんでしょうか。そして、その予算と決算額をちょっと教えていただきたいなと思います。

○委員長（陶山良尚委員） どの部分ですか。

（「何ページ」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） どの部分かな。

（馬場礼子委員「151ページ」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 151ページはもう終わっていますけれども。

○委員（馬場礼子委員） 終わっています。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） じゃあもう一回そこを、許可します。

○委員（馬場礼子委員） 申し訳ありません、すみません。

○委員長（陶山良尚委員） もう一度お願いします。

○委員（馬場礼子委員） 151ページ、申し訳ありません。

事務報告書では35ページで、例えば一時預かり事業、一番最後のですね、それに大刀洗のショートステイとかそういったところが入るのでしょうか。それがどこに入るのかなというのをちょっと質問したかったんですけども。保育事業の一時預かりの分はどこを見たらいいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） この34人がどの部分にあれするかですね。

○委員（馬場礼子委員） はい、そのショートステイの分で、一時預かりの分は。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 35ページの一番下の部分ですが、こちらは、これは無償化の分でございますまして、どこに入るといいますと、決算がどこかということですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） そうです。大刀洗のショートステイとかの一時預かり施設に関しては、どこに決算額が入っているのかなというところでした。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） 保育園における一時預かりではなくて。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） 保育児童課長。

○保育児童課長（伊藤健一） いわゆるショートステイということですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） はい。

○保育児童課長（伊藤健一） 分かりました。ちょっとお待ちください。

○委員（馬場礼子委員） はい、すみません。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（高原真理子） 今委員おっしゃった部分につきましては、子育て支援課所管になりまして、決算書でいいますと154、155ページ、家庭児童対策費にはなりますけれども、大刀洗のほう、ショートステイ、トワイライトステイということでございますが、こちらは利用がございません関係で、決算書には上がっておりません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。予算としても上がってなかったんでしょうか、これは。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（高原真理子） 予算としては6万円上がっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） じゃあ、利用がなくて、決算には上がってないということですね。分かりました。ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目よろしいですかね、学童保育所。

（馬場礼子委員「申し訳ありません、ありがとうございます」と呼ぶ）

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、154ページ、5目子ども医療対策費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、6目家庭児童対策費について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは進みまして、158ページ、3項生活保護費、1目生活保護総務費について質疑はありますか。

（神武 綾委員「戻っていいでしょうか」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） どちらですかね。

（神武 綾委員「159ページのファミリー・サポート・センター」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） じゃあどうぞ、神武委員。

○委員（神武 綾委員） 159ページ、003ファミリー・サポート・センター事業費なんですけれども、委託料で、これは委託がぽぴんずさんにされていると思うんですけども、ぽぴんずさんの事業の際の預かるときの保育士さんというんですか、サポーターの方の時給というのは、あれは計算上はどういうふうな根拠になっているんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（高原真理子） こちらのほうの根拠といいますか、ファミリー・サポート・センター事業をぽぴんずさんに委託しておりますので、料金的にはぽぴんずさんのほうで決定されております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 人件費については、もうそのぽぴんずさんの中で決定をされているとい

うことでよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（高原真理子） 委員おっしゃるとおりです。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、先ほどの3項生活保護費の1目生活保護総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） ありがとうございます。事務報告書の38ページの生活保護費の異動状況をちょっと教えていただきたいんですが、年間を通して開始が人員として114、それから廃止が128ということになっていますが、この廃止というところの人数の中で、自立ができたというような内容、もしくは亡くなっていたという状況、ここの内訳というか、状況をちょっと教えていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 2目扶助費のところですかね。

○委員（小島真由美委員） ごめんなさい、まだ入ってなかった。

○委員長（陶山良尚委員） 大丈夫です。じゃあ、2目扶助費ですね。

生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） こちらの廃止の区分についてはちょっと把握しておりませんので、また後日報告したいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね、後日で。改めて。

ほかにはありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 159ページの生活保護に関連することなんですけれども、先ほど年金のところちょっと質問しようかなと思ったんですけれども、国民年金のところ。実は、生活保護の方は年金が免除になっていると思いますけれども、十分な年金を受けていない人は、生活保護と組み合わせることができるということを把握しているんですけれども、この中で生活保護費の中に年金者の支払いというんですか、それが目で見えませんが、生活保護の方の年金を支払っている方が何名ぐらいいらっしゃるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。保護費の中からだろうと思いますけれども。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） 生活保護受給者の中での年金を支払っている方の人数という形ですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） はい、そうです。

○委員長（陶山良尚委員） 生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） すみません、こちらちょっと資料を用意していませんので、後で

また報告したいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、162ページ、4款衛生費に入ります。

1項保健衛生費、1目保健衛生総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、164ページ、2目保健予防費について質疑はありませんか。

原田委員。

○委員（原田久美子委員） 167ページもいいんですね。

○委員長（陶山良尚委員） はい、大丈夫です。

○委員（原田久美子委員） 予防接種費の中に成人用肺炎球菌というのがあってと思いますけれども、ここは市民の非課税者と生活保護の世帯は無料になっておりますけれども、この中で生活保護、非課税者の人数も接種者数に入っているのかどうかお聞きします。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 人数の中には入っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） そうしたら、結局普通の国保65歳以上の方は3,000円の接種料が要ると思いますけれども、非課税と生活保護の方は無料になっておりますけれども、今人数が入っていると申しましたけれども、その分の支出はどこに書いてありますか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 予防接種の実際に受けた方につきましては、予防接種の個別接種委託料の中に全て入っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） それは料金が発生した人数と、非課税と生活保護の方はもう入っていると申されましたので、その方の分は3,000円を抜いたところの人数で接種料をいただいて、払わなきゃいけないじゃないですか。その分がここの中の委託料から出してあるということになるんですかね。何名分の幾らを出しているということ、ちょっとそこを聞いたかったんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 3,000円の個人負担分を市のほうが支払っているような形になります。

○委員長（陶山良尚委員） 原田委員。

○委員（原田久美子委員） また個人的に聞きに行きます。



以上です。

○委員長（陶山良尚委員）　お願いします。

ほかにはありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員）　決算書169ページ、高齢者健康づくり推進費、審査資料のほうで17ページです。17ページの審査資料のほうで、高齢者の通いの場の内容と設置状況をお聞きしました。資料としては市内で9団体が設置されていますということなんですけれども、これ44自治会ある中で9団体、どのようにこの44自治会に対して対応していらっしゃるのか、逆に対応できてない部分があるのかをまずお聞きしたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員）　元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香）　介入方法としましては、地域の中の地域介護予防活動支援団体さんにお声かけさせていただいて、その中で希望を取ったところに入っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員）　木村委員。

○委員（木村彰人委員）　そしたら、関連してその下ですね、高齢者に対する個別支援の実施状況、これハイリスク者、健康状態不明者ということなんですけれども、これはもうこの高齢者の通いの場の活動の中で、高齢者の方でちょっと危険な状況、状態の方を見いだしたという形になるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員）　元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香）　後期高齢者の健診、あと介護予防サービス等を全く受けていらっしゃらない方と、あとその健診の中で一定の検査値以上の方について対応しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員）　ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員）　167ページの予防接種の中の帯状疱疹のワクチンなんですが、これ申請者数が976人ということなんですが、これ不活化ワクチンと生ワクチンとの数の内容というのが分かるのかどうか1つ。

それから、これは市民の方からちょっとお伺いしたんですが、1万円まで今補助がつくので、どうも病院によってはこれ金額が違うんですけれども、どのくらいの幅があって、1万円ちょうどで出してくる病院もあるのかどうか、ちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員）　元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香）　まず、生ワクチンとの割合についてですが、およそになりますけれども、生ワクチンのほうが7割から8割で、シングリックス、それ以外のものが3割程度というふうな割合になっております。

それから、補助金額につきましては、生ワクチンのほうは大体8,000円から1万円以内、

9,000円台とかが一番多いような状態になっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、教えてください。169ページの005の中の備品購入費の中の軽車両24万5,000円、これ自転車ですか。軽車両で24万5,000円計上されていますが。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） そうですね、それは自転車のほうになります。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） 自転車何台。内容は。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 折り畳み式の自転車5台分になります。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、これ必要なとき、多分駐車場対策で使われていると思うんですが、ヘルメットは着用されていますか。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 一応そうですね、乗るときにはヘルメットを準備しております。

（堺 剛委員「ありがとうございます。結構です」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、すぐ終わります。事務報告書の40ページに精神保健関係費の中で、自殺予防に係る研修会ということでゲートキーパーの研修は行っていただいています。本市は自殺数が多い市なんですけれども、ここに関する令和4年度の状況というか、ゲートキーパーの研修を受けられる方たちのお声の中で、どういったお困り事があるのか、そういったことまでの研修がここはあっているのかどうか、それともう聞くだけの研修になっているのかどうか。その自殺に対する本市の状況を令和4年度に限って教えていただきたいと思えます。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 今のところゲートキーパー研修については、講演会形式で聴くという形が多いですけれども、その後、質問の時間等を取って、疑問に思われることとか心配されていることとかを少し聞く時間を設けております。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 169ページの006新型コロナウイルスワクチン接種事業関係費なんですけれども、171ページの12の委託料のコールセンター業務委託料と、それからその下の会場運営

委託料についてですけれども、事務報告書の96ページに委託先が載っているのですが、コールセンター業務がトップツアーズ、それから集団接種会場の運営業務が一番下のJTBで1億4,000万円ということなんですけれども、これは契約としては入札をされているのか、随契なのかということと、予算額と決算額というのは分かるものなのでしょうか。分かれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） 契約は随意契約になっております。

予算、決算額については、後ほどお伝えいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 後ほどでいいですか。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、170ページですね、3目の母子保健費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、174ページ、4目……。戻ります。

（馬場礼子委員「申し訳ありません」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） じゃあどちらですかね、馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません、これもちょっと教えていただきたいんですけども、171ページ、母子健康診査費の中で、去年1年間、うめっこタクシーという社会実験事業をされたと思うんですけども、それはどこの項目に入って、その予算、決算、その実績というのはどうだったんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（高原真理子） 委員お尋ねの件に関しましては、社会実験ということでの令和4年度実施でしたので、費用としては予算額、決算額とも市のほうは負担しておりません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

○委員（馬場礼子委員） 後で聞きます。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目の環境衛生費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 176ページ、5目公害対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 6目環境管理費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 審査資料の18ページです。地球温暖化対策の推進について、事業の目

的、事業の実績、決算額等をいただきましたけれども、これ令和4年度の補助金交付実績なんですけど、太陽光システムとか蓄電池、電気自動車、こちら辺の件数なんですけれども、これがゼロカーボンという計画の中で、同時にこれ業務委託も地球温暖化対策実行計画を委託されているんですけれども、長期計画に基づく単年度の数値目標に基づいたこの令和4年度の件数なんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） すみません、もう一度お願いしてよろしいですか。申し訳ありません。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） これ、令和4年度の補助金交付実績があるんですけど、これ太陽光とか蓄電池システムとか電気自動車の補助をしているんですけども、当然これ予算化のときに件数が上がっているんですけども、これは令和4年度にある程度の根拠づけをもって件数を上げていらっしやったのかということ。恐らくこれ、令和4年度に同時に実施していらっしやいます業務委託、地球温暖化対策実行計画、この中で年度ごとの目標値が出てきて、それに対する事業という形の流れだと思うんですけども、このときはどうだったのかということです。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） この対策をつくりながらということではなくて、令和4年度の予算につきましては、前年度の実績に基づくもの、それからどれぐらい伸びるかというところで予算の件数等についてはこちらのほうで考えさせていただいています。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そしたら、令和5年度以降は、この地球温暖化対策実行計画ということに基づいて、恐らくそれに根拠づけられたところで年度ごとの事業が上がってくると考えていてよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 令和4年度に作成しましたので、令和6年度以降についてはその計画に基づいて件数を上げさせていただきたいと思っています。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

そしたら、神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今の木村委員に関連ですけれども、補助金交付の実績で、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスとか太陽光発電システム、蓄電池システムとか住まいに関するものがあるんですけども、これは傾向としては割合的には高いのか。太陽光だと売電価格が下がっているかというような問題もあって、少し下火になっているようなことも聞きますけれども、これはちょっと感触でいいですけども、どんなふうに感じられていますでしょうか。そこから辺ちょっと教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 太陽光発電につきましては、FIT制度がなくなりまして、売電のほ

う、そちらのほうが大分お安くなるということではあるんですけども、太陽光発電は確かに減っている感はあるんですけども、それに合わせて蓄電池のほう、そちらのほうが増えているかなというふうには感じています。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

関連してですかね。ですね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 先ほど木村委員に対する回答で、ここに出ている数字は計画とは若干別のということだと思うんですけども、昨日夜だったんですけども、改めてこの計画は見たんですが、課題はたくさん出ているけれども、一つ一つ細かい数字を毎年度これだけやっていくというような形の計画にはなっていないかと思うので、ただ実行しなければならないので、それを来年度に向けてやっていかなきゃならないと思うんですが、具体的にどうこう。その辺の計画を数値化していくというか、単年度ごとの、その辺の準備というのはどういう体制で組んでいかれるつもりなんでしょう。

ちょっと曖昧な聞き方ですけども、単に環境課だけの問題ではない、交通から何からあらゆるものが入っているところなので、場合によっては先ほどちょっと出ていたシティプロモーションと組み合わせて、太宰府市はこんなことをやっていくんだというアピールに使うとか、いろいろなことが考えられるとは思っているので、環境課からでなくてもいいんですけども、どういふふうに区域施策編というのをこれから予算化していくという心積もりでいるのかをちょっとお聞かせ願えればと思うんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） そうですね、区域施策編をやっていくに当たっては、やはり委員さんおっしゃるように環境課だけでできるような問題ではないと思いますので、当然関係課含めて施策のほうについては進めていきたいというふうに考えています。

（笠利 毅委員「皆さんで頑張ってください」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、1つ戻らせていただいて、公害対策費のほうでいいですか。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） はい。

○委員（小島真由美委員） 事務報告書の42ページに水質検査等入っているんですけども、御笠川1か所、鷺田川1か所というのはどのあたりになるのか教えていただきたいということと、もう一つ、あそこは除却されて移動が決まっている保健環境センターですかね、保健環境所、県の施設。ここに対して、この土壌汚染であるとか、かなりこの今までの長年にわたる調査研究の、恐らく様々な菌とかウイルスとかを扱ってきたところでありまして、土壌汚染についての公表というのは市には、毎回環境汚染についての水質検査、あの近辺の川の水質検査と

か土壌に対する汚染状況の数値とかというのは、提供というのは毎年あっているものなんではないか。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 1件目の水質検査の場所についてですけども、御笠川については都府楼橋の付近、筑陽学園辺りですかね、あそこの辺りとなります。鷺田川のほうについては、通古賀四丁目6番の田中橋付近ということですので、御笠川の合流地点の近くで1か所ということでやっております。

あと、保健環境研究所の土壌調査の結果等につきましては、環境課のほうには調査結果等は入っていません。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） あそこが除却されて、これからアスベストの問題も等々ありますので、県としっかりとここは連携をお願いしたいと思っていて、一番心配されるのは、どのぐらいの汚染されているのかという数値というものは、やはり公表しなければいけないと思っております。

この都府楼橋の近辺、この一か所一か所の水質検査をする場所を決めた、どうしてここに決めたのかというのちょっと教えてもらいたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） すみません、場所の選定については、ちょっと私は確認できてないので、すみません、申し訳ありません、ちょっと分かりません。

○委員長（陶山良尚委員） 門田委員。

○委員（門田直樹委員） 今さっきの確認だけ。項目の中にpH、これはpHやね。PFOS、今ちょっとあちこちで問題になっとうけれども、いろいろな原因が考えられるみたいやけれども、今項目に入っていないということでいいんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） pHですか。

（門田直樹委員「PFOSです」と呼ぶ）

○環境課長（高野浩二） PFOSですか。PFOSのほうは入ってないです、まだ。

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、6目のその後の環境管理費については質疑はよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、178ページ、2項清掃費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目塵芥処理費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、182ページ、3目し尿処理費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、3項上水道費、1目上水道事業費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、184ページ、5款労働費、1項労働諸費、1目労働諸費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、6款農林水産業費、1項農業費、1目農業委員会費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、2目農業総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 3目農業振興費について質疑はありませんか。  
木村委員。

○委員(木村彰人委員) 審査資料19ページです。決算書は187ページ、鳥獣被害防止対策事業補助金、これについて審査資料の中で、これ平成30年から5年間の捕獲状況を見ましたら、イノシシが平成30年に対して令和4年度は約2倍の427頭、新しく出てきた鳥獣としては鹿ですね。鹿が34頭と、大分数だけじゃなくて様相が変わってきたと思うんですけども、ここら辺の認識と、もう一つ、これ我が市だけじゃなくて、これは山は続いていますので、宇美町とか筑紫野市、大野城市、福岡県の森林公園もありますので、そこら辺の関係でここら辺の状況をどういうふうに連携して取り組んでいらっしゃるのか、お願いします。

○委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。

○産業振興課長(満崎哲也) まず、有害鳥獣の捕獲実績が伸びていることにつきましての主な要因という形になるかと思いますが、1つはやはり温暖化という部分も大きいのかなと。それから、猟師といいますか、この有害鳥獣を捕獲する方の高齢化とかという部分で、人が、これは全国的に少ないと言われているんですけども、そのあたりも要因として増えているのかなというふうに思っております。

それから、近隣市との連携につきましては、大野城市、それから宇美町につきましては、それぞれの担当、所管のほうと、どのような場所で捕獲をしているのかということも含めまして情報交換等もさせていただいております。

以上でございます。

○委員長(陶山良尚委員) 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 今のところ決算としては、これは補助金、鳥獣被害防止対策事業費補助金としては98万6,000円なんですけど、これ捕獲するだけじゃなくて、実はこれ、処分のほうもかなりばかにならなくなってきたんじゃないかなと思うんですけども、ちなみにこれ、捕獲した鳥獣についてはどのような処分をされているのか教えていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 基本的には、その捕獲した場所での埋設処理というのが基本になっております。もしくは、今ちょっとそういったなかなか埋設も難しいということも話が出ておまして、大きさのほうの規定はございますが、ごみ処理施設のほうでの焼却処理、そちらのほうに持込みということもあっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目都市近郊農業推進費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、188ページ、5目農地費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項林業費、1目林業振興費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 2目林業管理費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 決算書では191ページ、市民の森維持管理費についてお伺いします。審査資料は21ページです。これは市民と協働で行った再検討会議を3回行っていらっしゃいますけれども、これで検討された内容が出てきています。老朽化した施設の整備とか、キャンプ場の利用形態、これ最終的に具体的な計画としてまとめられたものは何かあるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） この令和4年度の決算書でいいますと、191ページの001の12節、歴史まちづくり関連業務委託料というところで決算額227万円ございますが、その金額において、市民の森の施設の維持管理を今後どのような計画でやっていくかという計画のほうを策定をしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連してもう一つ。この市民と協働で協議会、再検討会議を行ったということなんですけれども、今後これ、この会議体はもったいないんで、これ継続する意思是



ございますか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 貴重なご意見をいただく場でもございますので、利用されている団体さん、あとは市民の方も含めて意見を伺うような機会というのは、今後も設けていきたいなというふうには考えております。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今のところなんですけれども、施設の維持管理については計画の形に持っていったというような話だったかと思うんですけれども、その話し合った内容の中で、例えば伐採木の活用といったことが書いてありますけれども、あそこに遊びに行ったときにまきがいっぱい積んであったんですけれども、まきとかどのようにしようかという話をそのときに聞いているんですけれども、どんなふうに活用していこうかとかというようなことまでは、具体化まではまだされていないというようなことなんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 伐採木の再利用ということに関しましても、今後検討していけたらというふうに思っておるところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 予定はしているということですね。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはよろしいですかね。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） いいです。

○委員長（陶山良尚委員） いいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目の緑地推進費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、13時まで休憩いたします。

休憩 午後0時06分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後1時00分

○委員長（陶山良尚委員） それでは再開いたします。

午前中の回答があるということで、幾つかお願いしたいと思いますけれども。

経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 午前中、笠利委員のほうからご質問いただきましたマイナンバーカードに関するアンケートについてご報告させていただきます。

こちらは、マイナンバーカードの関係の事務負担についてのアンケートだったんですけども、結果としましては、回答した自治体の重い、やや重いという、事務の負担感が、約90%だったというふうに公表されておりますが、本市におきましてもやや重いということで回答しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次にお願いします。

生活支援課長。

○生活支援課長（木村浩一） 先ほどご質問がありました決算書161ページ、事務報告書38ページの生活保護の廃止の内訳なんですけれども、一応こちらにつきましては、まず多いのはやっぱり死亡による廃止、こちらが31名、次に転出、こちらが28名、そして自立による廃止が6名になっています。あとの分につきましては、親類の引取りとか、逮捕、失踪とか、そういったところの積み上げになっているところです。

続きまして、原田委員のほうからご質問がありました生活保護で年金をもらっている人の人数なんですけれども、こちらにつきましては126名いらっしゃいます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら次には、元気づくり課長。

○元気づくり課長（安西美香） それでは、決算書の171ページ、新型コロナウイルスワクチン接種につきまして、12節の委託料の予算と決算ということで、まずコールセンター委託料の予算額が、予算現額が1億221万8,000円、決算額が9,104万389円です。続きまして、同じく委託料の会場運営委託料につきまして、予算現額が1億9,683万円、決算額が1億4,096万1,258円となっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 環境課長。

○環境課長（高野浩二） 先ほど小島委員さんのほうからご質問いただきました河川の水質調査の件なんですけれども、確認をいたしまして、以前の分の記録を確認をいたしました。平成6年度以降の分の記録になるんですけれども、そこで同じ場所で2か所調査を続けております。これは定点観測ということで2か所続けております。河川の水質調査につきましては、県が市内5か所ほど行っておるようなんですけれども、それを補完する場所ということで、専門業者さんと場所を決定したのではないかなというところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 以上ですかね。

（「以上です」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは進みます。

190ページ、7款商工費に入ります。

1項商工費、1目商工総務費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

- 委員長(陶山良尚委員) 192ページ、2目商工振興費について質疑はありませんか。
- じゃあ、馬場委員。
- 委員(馬場礼子委員) 001商工振興費の中の女性を中心とした創業塾補助金の件なんですけれども、こちらは支援後、創業後のサポートはどのようにされていて、実際制度開始から令和4年度までの創業された実績で残っている企業、逆に言えば今どれぐらい残っているんでしょうか。
- 委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。
- 産業振興課長(満崎哲也) すみません、ちょっと最後のほうが聞こえづらかったんですけども、女性創業支援の制度が始まって。
- 委員長(陶山良尚委員) 馬場委員。
- 委員(馬場礼子委員) 令和4年度までに大体、今企業がどれぐらい残っている、支援された企業ですね。
- 委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。
- 産業振興課長(満崎哲也) 女性を中心とした創業塾に関しましては、昨年から取り組んでおる取組でございます。今現在どれぐらい残っているかにつきましては、把握はできてはおりません。
- 委員長(陶山良尚委員) 馬場委員。
- 委員(馬場礼子委員) ありがとうございます。じゃあ、支援後のサポートというのは、もう商工会のほうで任せてある感じでしょうか。
- 委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。
- 産業振興課長(満崎哲也) 商工会のほうには企業の中小企業指導員という方がいらっしゃるんですので、そちらの方の伴走支援という形でご支援をされているというふうに伺っております。
- 委員長(陶山良尚委員) そしたら、木村委員。
- 委員(木村彰人委員) 決算書192、193ページの商工振興費、令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクト推進事業委託料なんですけれども、これ委託になっていますので、これ405万3,000円、この委託の内容をご説明いただきたいんですが。
- 委員長(陶山良尚委員) 産業振興課長。
- 産業振興課長(満崎哲也) 事務報告書の104ページになります。104ページの真ん中ほどになりますが、1つが梅の実の分析調査研究業務委託、それから梅酒の中でチョーヤ梅酒、こちらの作製業務、これは令和3年度からの繰越分でございます。それから、梅の収穫に関する収穫業務委託、この3本でございます。
- 委員長(陶山良尚委員) 木村委員。
- 委員(木村彰人委員) あわせて、審査資料の20ページに「梅」プロジェクトで令和4年度に作り出された製品の一覧があるんですけども、この製品の一覧、これ新しい特産品、新商品に

なるんでしょうけれども、これを開発する、市のほうとしての何かしらの支援というか、それがあつてのこの13品目ができたのか。どうしてこれ、ここまでしっかり製品ができたのか、そこら辺の流れをちょっとご説明いただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 昨年度、こちらのほうに13品目作っている分で、既存のものも実はございまして、既存のものとしましては、株式会社梅の花のデザート、それから大賀酒造の東風の梅という梅酒、こちらは既存のものでございます。残りのものにつきましては、新製品もしくは味を変えるなどをして見直しを行った製品になっておりまして、直接的に市のほうからの支援といいますか、現実的なものとしましては梅の実の提供をさせていただいて、製品の開発を考えていただいたという部分が主なものになっております。

ただ、この中で福岡農業高校のほうが一緒になって作られている製品というのが、1番目の西鉄さんの梅サイダーですね。あとはカルビーさんのポテトチップ、福太郎さんのうめんべい、チョコレートショップさんの梅ショコラ、高橋商店のうめえたれ、こちらのほうにつきましては、福岡農業高校のほうとの連携事業になっております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 令和4年度は既存のものもあるということで13品目なんですけど、特産品を研究するというか、産業推進協議会でしたか、あつたと思うんですけども、これ、この令和4年度に終わらず、継続的に市のほうの働きかけがないと、なかなか新しいものは続かないと思うんですけども、この協議会の活動の状況をご説明いただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） 産業推進協議会につきましては、令和3年度の末に未来への道しるべという、今後太宰府で創業もしくは製品開発を行うための道しるべということ、そういった参考になるような資料をこの協議会のほうで作っていただきまして、実際のところ、これを活用して次にどのような形で進めていくかということの今現在準備をちょっとしているところでございます。令和4年度の産業推進協議会の活動というのはございませんでした。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今の関連ですけれども、事業委託料の分で、事務報告書の104ページに梅の実の分析調査とか、あと「梅」プロジェクト「蝶矢謹製大宰府梅酒」の製造とかあるんですけども、製品は13品目あつて、チョーヤさんに263万7,000円の委託料が出ていますけれども、ほかの事業者さんに対しての委託料とかというのは発生してないのかということと、それともう一つ、梅の実収穫作業業務というのが41万5,000円で事業者に使われていますけれども、梅の実の収穫って、古都保存協会さんが市民に呼びかけて、一緒にやりましょうというようなこともこれまでやられてきたと思うんですけども、私が昨年度見る限りではそういう事業もやつたと思うんですけども、今この事業者さんを使わないと収穫が難しいということ、こういうことをされているのかということ、伺いたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 産業振興課長。

○産業振興課長（満崎哲也） まず、チョーヤの梅酒以外の委託料をお支払いしての製品開発があったかということに関しては、ほかの製品については特に委託料を支払っての製品開発というのはございませんでした。

あと、梅の実の収穫委託、この分につきましては、史跡地のこの「梅」プロジェクトで使用します梅の実を史跡地、大宰府政庁跡の坂本八幡宮周辺、それから水城跡、市民の森、こちらのほうに梅の実があるんですが、大体350本から400本近くあるんですけども、その分の梅の実を1日もしくは2日間で収穫しなきゃいけないというところがございまして、時間的なもの、それから人数的なもの、あと天候もございまして、その辺で外部といいますか、造園組合さんのほうに委託をしたというところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 梅の実収穫なんですけれども、物すごく子どもが喜ぶんですよ。私も連れていったことがあるんですけども、なので、1日、2日で事業者さんがやれば終わると思うんですけども、少し市民の方がお手伝いできるというか、何かそういうことも考えられたら、もっとこのプロジェクトが大きくなっていくのかなというふうに思いますので、その点は要望です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、194ページ、3目消費者行政費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは続きまして、4目観光費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 観光費の12節かな、事務報告書でいきますと105ページなんですけど、ラジオ放送による市政・観光情報広報展開事業で、約300万円使ったのラジオ放送、これ市政・観光情報、これ市政も入っているようなんですけど、これ内容的には何分番組で、どういった効果が、効果があったのかというのがよく分からないんですけど、すみません、拝聴してないので分からないんですけど、これは1回の1番組でこの金額で、どういう効果をもたらしたのか。市政も入っているんで、観光だけではなくて、これ市政の内容も若干入ってきているんですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） これは年末年始に実施したものでございまして、内容としましては、AM、FM、2社に市長が出演したというものであります。生放送番組が年末と、あと収録番組としましても2月まで、1月、2月までかけて毎週放送されたものでありまして、内容

としては、市制施行40周年だとか、年末年始になりますので渋滞緩和の呼びかけ、あとふるさと納税等を市長がPRいたしまして、あとは日本遺産ですとか「梅」プロジェクト等についても放送しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） じゃあ、これは観光大使が出演したとかではなくて、市長が出演されて、この番組の中での説明というようなやり方だったんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） はい、小島委員おっしゃるとおり、市長が出演しております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 197ページの下から、観光地活性化補助金ってありますね。これの支払い先と、その具体的な内容を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 観光地活性化補助金の内容ということでございますが、10月にクーポンの販売を実施いたしまして、12月と2月にはPay Payのキャッシュレスポイントの還元ということを行いました。観光協会への補助でございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、教えていただきたい。197ページの001観光宣伝費の中の令和の万葉大茶会ですね、2月ぐらいに開催だと何か聞いていたと思うんですが、その後何か詳しい説明できる事業内容があれば、お示しいただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） これは本年度のということよろしいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） すみません、はい。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） こちらについては、決算上の分は昨年度の鳥取大会のものでありますが、本年度については本市におきまして実施するというので、先般観光庁の補助も下りましたので、近日中に実行委員会を開いて詰めてまいりたいと思っております。

○委員長（陶山良尚委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） 今からですね。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 本年度はこれから詰めてまいります。

（堺 剛委員「了解」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、もう一つ。197ページの細目003なんですけど、この公衆トイレの維持管理、保守点検、これはどうか分からないんですけど、臨時仮設トイレとか交通誘導とか、年末年始の、こういったのは例えば歴文税で使う、予算を立てるとかというのとすみ分けというのは、その辺が市がするものなのか、歴文税を使ってやるものなのかというすみ分けというのは何かあって、これはもう市がやるべきこととしてずっと上がってくる内容なんではないか。

○委員長（陶山良尚委員） 観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） こちらは、歴文税の運営協議会におきまして実施するというものを決定して行われたものでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） じゃあ、これは歴文税で行われたということなんですかね。ああごめんなさい、ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に参ります。

198ページ、8款土木費に入ります。

1項土木管理費、1目土木総務費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、202ページ、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 決算書202ページ、203ページ、道路橋梁維持補修費なんですけど、これ予算に比べて執行率が80%と、2,136万7,000円、21%も不用額になっているんですけども、これはどういう理由でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） まず、当初予算額に比べましてちょっと少ない原因が、実は令和4年度から令和5年度に関しましてちょっと繰越しが発生しております。ですので、これは若干金額が少なくなっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 繰越しは了解したんですけども、不用額として2,100万円上がっているんですけど、残っているんですよ。これ逆に、当初の見込みがちょっと違ったのか、そこら辺

のところをちょっと確認したかったんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 入札減とかそのような絡みになっております。関係です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、2目道路橋梁新設改良費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） ここで聞くとところなのかちょっとはつきり分からないんですが、すみません。陥没の令和4年度の箇所的なことを教えてもらいたいんですが、ここでよかったですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 大規模な陥没はないんですけれども、やはり道路に関して数か所程度、これは応急工事で対応できる程度の陥没はあっております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 予防保全から、特殊車両を走らせて、道路の下をずっとスケルトンに見ていくというやり方を取り入れていると思うんですが、それをやって何か所見つかって、何か所予防できたとかというのちょっと教えてもらいたかったんですが、この箇所じゃなかったら、また違うところで聞きます。すみません。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 令和3年度で空洞による陥没が発生した団地関係の調査はほぼ終了しているわけなんですけれども、重大な空洞は発見はされておりません。ただし、やはり先ほど言いましたように、これは数か所、小さな陥没関係を工事は行っております。

令和6年度以降、一応続けて調査をする予定で、現在、令和5年度中に調査する地域を検討しているところです。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありますか。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 205ページの002交通安全施設整備費と、206ページ……。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員、まだそこは入ってないですね。2目ですね、今。

○委員（馬場礼子委員） すみません。

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、2目はよろしいですかね。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 決算書202ページ、203ページ、道路橋梁新設改良事業費、生活道路改良費、ここで審査資料のほうは22ページです。側溝の蓋がけ工事が進捗、粛々と進んでいるんですが、大体令和4年度は千二、三百mですよ。残りが令和5年度以降の工事延長が今5,200m残っているんで、これ計算上はあと5年ぐらい、大体年間1,000m程度やっていくと、5年ぐらいでこの蓋がけ工事は完了という形になるような感じがするんですけども、これ見込みのほうはどんなものでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 蓋かけの工事につきましては、一応最終年度を令和8年度で、大体毎年1,000m前後で計画をしているところです。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 審査資料の次のページ、23ページですね、各自治会から要望された市営土木について、要望件数と実施件数、未着手件数なんですが、323件の要望に対して138件実施で47%、約半分。半分以上が一応これ未着手なんですけれども、簡単にできるものばかりじゃないとは思われますが、この185件の未着手の主な理由を教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） もちろん各行政区ごとのバランスを考えて配分はしておるわけなんですけれども、未着手の中には、実際他の例えばため池関係の工事関係と一緒にしたほうがいいので、後年実施したほうがいいとか、また場所によっては、例えば道路の切上げをしてほしい、高さを上げてほしいという要望が出ていますけれども、側溝あたりの水はけ、そのようなことを考えていかないといけないようなところとか、なかなか全体を見なくてはいけないところもかなり出てきておりますので、未着手件数が発生しております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 最後です。ここの道路新設改良費が、これ8%不用額が出ているんですね。8%は小さいんですけども、額にしてみると5,700万円ぐらい実はこれ不用額を余らせているんですけども、この蓋がけ工事もそうですけれども、市営土木についても、これもうちょっと執行率を上げることができたんじゃないかと思うんですけども、予算的に5,700万円ほど残っているんでね、ここの状況についてご説明いただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） 中には、計画しとって計画が少し縮小した部分もありますし、やはり入札減とかそういうふうな関係が発生している面もあります。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 今の道路の側溝の蓋かけ工事、改良工事の件ですけれども、この要望件数に対して実施件数がえらい少なかったり、いろいろしている部分がありますけれども、これは結局は予算的なものとか、距離的にやっぱり予算が必要だということで、その分が少しずつれ込んだらということですかね。

○委員長（陶山良尚委員） 建設課長。

○建設課長（齋藤実貴男） やはり予算の関係もあります。また、現場の状況関係もあります。以上です。

（船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 2目はよろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、204ページ、3目地域交通対策費について質疑はありませんか。

（馬場礼子委員「木村さんがおっしゃったのと一緒に、すみません」と呼ぶ）

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは続きまして、206ページ、3項河川費、1目河川管理費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項都市計画費、1目都市計画総務費について質疑はありませんか。

じゃあ、橋本委員から。

○委員（橋本 健委員） 歴史的風致維持向上計画について教えてください。これは平成22年11月からずっと申請をされて認可された、そして事業をずっと継続されているわけですけれども、第2期が今年度、3月29日に第2期の申請が認可されたということを伺っております。今後の計画といたしますか、これ10か年ですかね、今回。これ10か年の計画をもう立てていらっしゃるのでしょうか、まず。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 歴史的風致維持向上計画の2期計画につきましては、先ほど委員おっしゃるとおり令和5年3月29日に認定をいただきまして、今年度令和5年度に今後の10年分の事業計画を今計画を考えている途中でございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 昨年度は、審査資料を出していただいて、24ページ、陶山家初蔵、これ陶山委員長の隣とか。

○委員長（陶山良尚委員） いえいえ。単純に違いますね。

○委員（橋本 健委員） これはどこでしょうか、場所は。と、あと光明寺本堂という分。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 陶山家勅蔵につきましては、通古賀、王城神社の反対近くになるかと思いますが、それとあと光明寺につきましては、参道の裏手といいますか、国博通りのほうに面する部分になるかと思いますが。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それで、それぞれ補助率が違うんですけども、これは向こうの審査によつての決定額なんでしょうね。陶山家のもみ蔵は66%なんです、補助額が、対象経費に対して。光明寺本堂は36%なんですよね。かなり開きがあるんで、この辺の審査状況といいますか査定、どうやって決まるんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 今おっしゃられたとおり、補助の対象となります経費のほうがございます、おおむね市のほうで助成させていただいているのは3分の2程度になるんですが、上限額がございます、光明寺のほうがその上限額の800万円になっているということがございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ありがとうございます。決算書の209ページに戻りまして、工事請負費で歴史まちづくり関連工事というのがありますよね。これ、場所と内容を教えていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） こちらの工事につきましては、歴史の散歩道、こちらのほうのカーブミラー及びガードレール、こちらのほうのやり替えとか取替えですね。例えばカーブミラーであればオレンジの色が茶色いもの、ガードレールであれば白いものがまた茶色いものになっているというふうな形の工事でございます。

以上です。

（橋本 健委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 209ページの004都市計画費のところに入るのかなと思うんですけども、予算当初、重点項目で中心市街地の活性化検討ということで予算がついていました。それに関連して資料請求させていただいたんですけども、25ページの上の段のところですが、中心市街地の活性化検討については、西鉄五条駅周辺、そのほか市内各拠点についてということだったんですが、実際にこのことについてはビジョン会議の有識者の方々、それから鉄道事業者などの勉強会、若手職員によるまちづくり勉強会、庁内外の関係者とのディスカッションな

どは行ったというふうを書いてあって、もともとの予算組み330万円は使わずに、決算額はゼロということなんですけれども、いろいろな会議というか、議論はされていると思うんですけども、これは会議録があるのかということと、あとこれをしたことによって、決算額はゼロで経費はかからなかったということなんですけど、今後計画、どういうふうに使われているのかということをお聞かせ願いたいんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） 今おっしゃられたとおり、ビジョン会議につきましては、市の総合戦略会議のほうの資料の中にも少し意見のほうに触れられております。それで、今後の計画についてということでもございますが、令和4年度に都市計画基礎調査という、都市計画法第6条にのっとった法定の調査がございまして、令和4年度につきましては、こういった調査を見直すことで、再度今後の中心市街地活性化についても分析、検討する必要があるだろうというところで、庁内外の有識者の方々や若手職員などのディスカッションに努めたところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） じゃあ、実際に令和4年度いろいろ議論されたことが、今施策の中に生きているというわけではない、まだこれから令和5年も積み上げていくという形でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（古賀千年志） お見込みのとおりでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、210ページ、2目公園事業費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、212ページ、3目下水道事業費について質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目土地開発費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5項住宅費、1目住宅管理費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 213ページの市営住宅維持管理費なんですけど、市営住宅の築年数は今のくらいになってきているんでしょうか。高層じゃないから、そんなにエレベーターの設置

は必要ないかも分からないんですが、入られている方たちが高齢化に伴って、階段が不便だとかなんとかというお声もあるかも分からないんですが、市営住宅の老朽化と、今改築しなければどうしてもならないような緊急なものがあるかどうか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） 市営住宅の築年数につきましては、鉾ノ浦住宅が44年、般若寺住宅が40年、朱雀の住宅が23年になります。

改築なんですけれども、長寿命化計画を立てておりまして、その中で外壁等の補修は全て終わっております。今年度長寿命化の計画を立てる予定にしていまして、今後長寿命化に必要な内容を決めていくようになっております。

以上になります。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 今の質問に伴ってですけれども、213ページ、市営住宅の維持管理の中で、12節の中の市営住宅の衛生給排水設備保守点検委託料って書いてありますけれども、24万2,000円ってありますが、どのような保守点検、もう40年から以上たっているというところで、結構いろいろな配管とかは多分大分傷んでいると思うんですが、そこもとのあれを教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 管財課長。

○管財課長（堀 修一郎） この市営住宅衛生給排水設備の保守点検に関しましては、貯水槽の点検を行っております、受水槽の清掃ですとか消毒等の点検を年2回行っております。それ以外の配管の詰まりとかの工事に関しましては、修繕費のほうで見えております。

以上になります。

（船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次に9款消防費に入ります。

1項消防費、1目常備消防費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目非常備消防費について質疑はありませんか。次のページまでですね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、214ページ、3目消防施設費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） じゃあ、216ページ、災害対策費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、218ページ、教育費に入ります。

1項教育総務費、1目教育委員会費について質疑はありませんか。

馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) ちょっと戻っていいですか。

○委員長(陶山良尚委員) どこですかね。

○委員(馬場礼子委員) 申し訳ありません。219ページの002市内一斉避難訓練のほうなんですけれども。

○委員長(陶山良尚委員) どうぞ。

○委員(馬場礼子委員) 審査資料が25ページですね。これって実績が書いてあるんですけども、参加者数が3,481人。すごい極端に少ないかなと思うんですけども、この決算額の中にそういう事前の何か周知とかそういったものの予算組みはされてなかったのか。今年は中止ということですよ。ただ、今後どれぐらいの参加人数を目標に、反省点として何かそういった活動の計画とかはされているんでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 防災安全課長。

○防災安全課長(竹崎雄一郎) まず、予算でございますけれども、お知らせするための予算といえますか、消耗品の予算を計上させていただいております。今後の目標につきましては、具体的な目標というのは、多く参加していただきたいというのはあるんですけども、各地域に入ってお知らせであったり、そういうことは考えておりますけれども、具体的に何名というところの目標というのは、今のところございません。

○委員長(陶山良尚委員) 馬場委員。

○委員(馬場礼子委員) ありがとうございます。自治会によっては本当に数名の参加というところもありましたし、そのところ、ぜひ事前にいろいろ活動していただければと思います。よろしくをお願いします。

○委員長(陶山良尚委員) 関連、神武委員。

○委員(神武 綾委員) 今の一斉避難訓練についてですけども、予算時の重点項目の防災力強化のところでは、風水害における災害発生時というようなことで予算化をされていたんですけども、実際の避難訓練は地震発生時想定になっているんですが、これ変更した理由とかありますか。

○委員長(陶山良尚委員) 防災安全課長。

○防災安全課長(竹崎雄一郎) 市民一斉訓練を開催するに当たりまして、風水害というものも太宰府市における災害想定にありますけれども、一斉避難というところで、全市的に避難が多く必要になると、被害が大きくなるというのが地震というところで、地震を想定に一斉避難訓練を開催するということに変更いたしました。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 確かに風水害だと地域的に想定としては限られるかなと思うんですけども、今後そういう取組をされる予定はありますでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 防災安全課長。

○防災安全課長（竹崎雄一郎） 今後の一斉避難訓練については、現在のところ地震想定で実施する予定で考えております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

○委員（神武 綾委員） はい。

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、戻りまして、1目教育委員会費については質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目事務局費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 決算書220、221ページの学校教育運営費の中で、審査資料のほうは28ページです。資料としていただいたのはオンライン家庭学習環境の整備について、モバイルルーターの購入台数と活用という形ですね。これについて、本体購入台数250台、通信契約台数113台、活万台数が11台なんですけれども、ここら辺の当初の見込みと実際、かなりこの活万台数が少ないんですけれども、ここら辺のこの説明をいただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） ご説明させていただきます。

本体購入台数が250台ということで、こちらは購入する前に保護者の皆様にアンケートを取らせていただきました。家庭にWi-Fi環境がない、また通信環境がない、その他必要ということのアンケートを取った結果、約250人分ぐらい必要になるんじゃないかという想定ができておりました。実際その後、活用する場面ということで、各学校に例えば家庭学習が必要であるとか、そういったことで申出を随時受け付けておりました、そのトータルで使っていた台数が11台という結果になりました。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 分かりました。当初のアンケートの見込みと大分実際が違ったということでしょうか、これ通信契約台数ということで113台、これは毎月毎月通信料がかかるんですよね、基本料というか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） できるだけ安い、経費がかからないような方法をいろいろ探りまして、基本料とかはかかるんですけれども、使わない間は基本料もかからないというようなもの

を探しまして、できるだけ経費を抑えるということで、そういった契約をさせていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 使わなかったら0円というのはすごいいいですね。分かりました。

じゃあ、その下のほう、活用状況についてご回答いただいたんですけども、オンライン学習の実施状況については、これ、それぞれの学校ごとにばらばらのような形で、実は実態も把握していないということなんですけれども、ここら辺、そのルーターだけじゃなくて、タブレットの活用については、活用のマニュアルなり方針なりに従ったところで、最低限ある程度各学校統一したところで、最低限のレベルで使うという方向でやっているわけではないのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） もちろん1人1台の児童・生徒に配備しておりますので、台数的にはもう6,000台を超えるような数を配備させていただいておりますので、活用をしていただくということで進めております。先生方にもスキルアップのために研修を積んでいただいたり、県の研修であったり市の研修であったり、それからICTの担当の先生方に集まっていたり、その活用の研修等を広めまして、全校同じように活用いただくように進めているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ありがとうございます。じゃあ、ざっくり言って、概要を言うならば、まだ活用についてはまだまだという認識でおってよろしいんでしょうね。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 私は実際、学校等の学校訪問等で授業等を見せていただいておりますけれども、かなり頻繁に使っていただいているような印象はございます。ですので、どの学校も十分という、十分というのはなかなか尺度がないんですけれども、使っていただいている認識であります。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そちら辺、認識ということですが、別にそれがどうのこうのと今の段階で言っているわけじゃなくて、これから活用が進んでいくという私は認識でおるんで、だからそこを今大丈夫だと言われると、逆に疑問に思うんですけども、これからしっかりやっていくというふうに考えていてよろしいんですよ。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 今後も活用に努めていただくように、教育委員会からもお願いしていくことと考えております。

以上でございます。

(「関連」「同じところで」と呼ぶ者あり)

- 委員長(陶山良尚委員) じゃあ、笠利委員が早かったので、笠利委員から。
- 委員(笠利 毅委員) 使われ方のようなことに関することなんですけれども、この間どなたかの一般質問でもいろいろな使い方、新しいやり方も出ているという話があったかと思うんですが、家に持ち帰って勉強に使うときに、いわゆる紙とか教科書で家で自宅学習をする時間と、タブレットを使って勉強している時間と、何対何ぐらいになっているとか、何時間ぐらいずつになっているとか、そのような調査がなされているのかなということをお聞きしたいんですけれども。
- 委員長(陶山良尚委員) 学校教育課長。
- 学校教育課長(鳥飼 太) そこら辺の調査というのは、申し訳ございません、ちょっとできておりません。
- 委員長(陶山良尚委員) 笠利委員。
- 委員(笠利 毅委員) というのは、文科省からもいろいろ出ているかとは思いますが、あまり使い過ぎたり、夜遅く使っていたりしたら、いろいろ健康面の害があるとか、その気になればスクリーンタイムを管理するとか、いろいろな方法があるようでもあるので、何かしらあってもいいのかなという気がしたので、お尋ねしました。

(「はい」と呼ぶ者あり)

- 委員長(陶山良尚委員) まずは、さっき橋本委員が挙げとったから、先に、すみません。橋本委員。
- 委員(橋本 健委員) GIGAスクール構想について昨年12月に一般質問させていただきました。やっぱり現場の先生が非常に苦勞されているということで、固まる、通信環境がよくないということで、今年度の3月までにしっかりと、新入生を迎えるまでにその改善をしてくださいますというお願いをしましたがけれども、その後改善をされたのかどうか。そして今、通信環境が非常によくなったのか、その辺をお聞かせください。
- 委員長(陶山良尚委員) 学校教育課長。
- 学校教育課長(鳥飼 太) 今年度、昨年度からですけれども、改善に努めまして、電波状況であるとか、場所によって通信環境が悪い教室があるとか、そういったのを各学校からご意見いただいて、そのときはそういった通信環境が悪いとか、途中で切れるとかというご意見もありましたけれども、今現在はそういったことはもうほぼないような状況でございます。
- 委員長(陶山良尚委員) 小島委員、すみません、次、馬場委員。すみません、申し訳ないです。
- 委員(馬場礼子委員) 先ほどの木村委員のとちょっとダブっちゃうところはあるかもしれないんですけれども、オンラインの学習実施状況に関して、私が去年ちょっと質問したときに、学校ごとにできている、できてない、ちょっとある程度の評価をいただき、ご回答としては、できている学校もあれば、全くできてない学校もあるということなんですけれども、今現実的に

は平均的に、ほとんど平均的になっているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） オンライン学習をしている学校とない学校が均一にできているかというのでしょうか。実際、オンライン学習を行っているのは、不登校の児童・生徒に対してのとか、そういったことで行っていることもありますし、あとはコロナ禍では朝の会であったりとかということで活用させていただいて、ほとんどそういった自宅での活用というのができる状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 小島委員、お待たせしました。

○委員（小島真由美委員） すみません、221ページの一番上の報酬、1,740万円余ぐらいの不用額が出ているんですが、これは何人ぐらいどこで雇用しようと思って、雇用がうまくいかなかったのか、それともまた違う理由なのか、ちょっとここの説明を、不用額の説明をお願いしたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） この報酬においては、雇用させていただいたのが特別支援教育の支援員さん、それから指導主幹の先生方、それと小学校に配置しております英語専科の先生方ということで、そうですね、ちょっと不用額が多くなったのが、予定どおりの雇用はほぼできている状況でございます。ちょっとこちら、後ほど確認させていただいてお答えさせていただいてよろしいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） では、お願いします。

門田委員。

○委員（門田直樹委員） すみません、ちょっと何かずれましたが、今タブレットの話をしよったよね。盛り上がっていったんで、ぼうっと聞いておったんだけど、ちょっと違う考えで、タブレットは必要最小限でいいと思う。コロナがあって、国のGIGAスクール等々でやっているけれども、まずその前に、とにかく現状あるから、どういう教育の内容をされてあるかということを開きたいんだけど、そもそも例えばビット、バイト、キャラクタとかのいわゆる電算の基本、ITの基本をまずは勉強をしているかどうか、それで聞かせてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 今のは児童・生徒がということでよろしいでしょうか。

（門田直樹委員「はい」と呼ぶ）

○学校教育課長（鳥飼 太） 児童・生徒がITの基本を勉強しておるかというところでございますが、そこまでは教育課程の中では教えてないというような状況でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 門田委員。

○委員（門田直樹委員） でしょうね。高学年ぐらいになったら基本的なやつは理解できると思うんだけど、今はそういう使い方だと思います。結局は単なる道具なんですよ。大事なものは、もうはっきりしているんだけど、やっぱり紙の本であり、紙の新聞であり、そ

うものを読み込んで基本、分からんところを繰り返して確認するようなもの。流れるような情報の中へ子どもたちをぼんと放り込むのはどうかなと思います。インターネットはごみの山と言うんだけど、たまに宝もあるんだけど、それは十分な基本があって探す、目的を持って探す能力があって初めてですね。

ということで、今こういう形でいっとるのは仕方ないにしても、いずれはこれ買換えが来ると思う、皆さん。もう莫大な金がかかる。国がいつまでも面倒見てくれるんじゃないから、よそはよそ、うちのうちで、きちんとこういうものなしでやっていくぞというふうな方針を一定固めとくべきですね。

それともう一つ言うならば、議会もそうだったけれども、一時期はタブレットを各議員にとかと言いつたけれども、そうじゃないと。必要なら自分らのタブレットでもスマホでも使えばいいんですよ。それを使いこなす力を自分で個人で使えばいいと。あまりこういうふうな教育現場とかが、そもそも教育現場がそういうところに入っていくほどの力量があるかという、そこはなかなかないと思う。全部外部へ委託せな駄目だと思いますよ。

ということで、意見として、最小限のことをやっていくべきだと、将来を見据えて。将来は私はもうないほうがいいと思うとる。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 2目。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 同じ003のところのスクール・サポート・スタッフ業務委託料なんですけれども、先日、これは私ちょっと触れたと思うんですけども、簡単でいいので、人数とかサポート業務、どういったものか教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） スクール・サポート・スタッフさんですけども、各校に1名ずつ配置をさせていただいております、業務としては、コロナ禍では消毒等をしていただいております。それプラス、学校で必要と判断されるような業務をお手伝いをいただいているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） すみません、具体的にどういったことでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 具体的に先生方のお手伝いの内容ということでございましょうか。

例えば先生方が授業に行っている間に資料をそろえておいたりとか、そういったことをお手伝いいただいております。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目はよろしいでしょうか。

学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 申し訳ありません、先ほど木村委員さんからご質問いただいたモバ

イルルーターの契約の件でございます。1点ちょっと訂正をさせていただきます。

契約の方法といいますか、内容でございました。使用しない月においては、私、かからないというふうに申しあげましたけれども、申し訳ありません、1台300円の基本料金がかかりまして、利用する月については、その利用している端末が1台1,400円かかるということで契約をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） すみません、関連して。お金がかかるということであれば、通信契約台数113台と、実質動いているのが11台、これが延べかどうか分かりませんが、ここら辺の使い方ある程度見通したところでのこの通信契約台数、これ絞り込むのか、そこら辺ちょっとしっかり考えなきゃいけないような気がするんですけども。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 今後状況を見ながら検討させていただきたいと思います。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 次に、3目人権教育費について質疑はありませんか。

（神武 綾委員「すみません、223ページは」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） どの部分。

（神武 綾委員「戻りますけど」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 戻りますけれども、いいですよ。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 223ページの004不登校対策費の07報償費の中に臨床心理士ってありまして、予算が6万円ついていて、決算1万2,000円になっているんですけども、この内容を教えていただいているんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） こちらはつばさ学級ですね。教育支援センターのほうで臨床心理士さんの先生に来ていただきまして、保護者に対する講話をしていただいた際の謝礼でございます。ということで、それが1万2,000円お支払いをさせていただいているところです。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） 予算額から減額されているということは、回数が少なかったということでしょうか、予定よりも。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 臨床心理士さんの検査とかが特に必要なく、なかったということで、保護者説明会の中で臨床心理士さんにお話をさせていただくということに活用させていただ

いております。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） その臨床心理士さんから、学校に行きづらくなっている子どもたちの保護者さんにお話をする機会を設けるとか、あと直接お話をする機会をつくるとかというのはすごく大事なことで、いい取組だなと思いますので、これは予算がもともと6万円あったと思うんですけども、せつかくですので十分に使っていただきたいなというふうに思います。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） 今の不登校児童の対策の件ですけれども、審査資料で29ページの上から2番目のところに不登校の児童・生徒数の推移って書いてありますけれども、中学校はそこまでないんですが、小学校が右肩上がりに、令和4年度は4.17という形になっていますよね。これは何か不登校になる最大の要因というのは、何か学校側から聞かれていますか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） この要因の大きなものとしては、コロナ禍によることが大きな要因ではなかろうかというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 船越委員。

○委員（船越隆之委員） そのコロナ禍によるというのは、コロナの3年間ぐらいいろいろありましたけれども、その中で子どもたちの精神的な何かがあったということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） コロナ禍において長期休業が続いたということもございましたし、集団の中に入るといふことに抵抗があるお子さんがいらっしゃったりとか、そういった事情もございます。それからあと、なかなか学習についていけないというようなお子さんも、その不登校に至る要因の一つであるというふうに聞いております。

（船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 今船越委員が聞かれたことに関係するんですけども、船越さんは中学校はそれほどでもないと言われましたけれども、数字は違いますけれども、割合でいうとどちらもこの最後の令和4年に結構上がっているんですよね。令和5年については、まだ結論的なものは出てないかもしれませんが、現時点で傾向的にはどのような感じになっているかというのは把握されているのでしょうか。コロナ禍の要因と言われましたけれども、去年と今年ではまた状況が違うので、それが強く出てきているのか、むしろ収まっているのかとか、その辺どういう、教えていただければ。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 令和5年度の傾向でございますけれども、これが急に収まるという

ことは、今のところそういった見通しはございません。ですので、令和4年度と比較して同程度、または増えるんじゃないかなろうかというような見通しでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 同じですかね、関連して。

馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） 同じく関連してなんですけれども、審査資料のところの令和4年度、スクールソーシャルワーカーによる支援が289というのは、この不登校児童・生徒においてということですか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） スクールソーシャルワーカーの対応の一番の大きなというか、多い相談内容としては、不登校関係の相談ですね。続いて家庭環境に対する相談、それから発達課題に対する相談というような多岐にわたる相談を受けていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ありがとうございます。不登校児童・生徒の数字というのは明らかにされてないんですけれども、例えばつばさ学級とかいろいろ利用されていて、最終的に全くどちらにも当てはまらないお子さんもいらっしゃると思うんです。そういったところの把握と指導というのはどういうふうにされているのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 各学校でももちろん不登校児童・生徒の数というのは把握しております。毎月教育支援センターのほうに報告いただいて集約をしていただいております。そういったお子さんに対する指導ということですが、在宅学習とか、あとはフリースクールに通われるとか、そういったことも出席として扱えるようなことで今取り扱っておりますので、積極的にそれを勧めているわけではございませんけれども、そういったこともあります。あと、もちろん教育支援センターのほうに通っていただくようなこととか、あとそういったことも含めまして、今年度保護者説明会も直接保護者をお呼びしてさせていただいたところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、先へ進みます。

3目人権教育費については質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 225ページの001の南児童館指導事業関係費なんですけれども、事務報告書の53ページ、下のところに、南児童館事業ということで参加状況なんかの表がいつものとおりになっているんですけれども、促進学級、教科指導の平日夕方行われている分に関しましては、参加状況が1回当たりやっぱり3人ぐらいか4人というところで、ほとんど近年変わっていないと思うんですね。それから、次のページの長期休みのスクール活動のところなんですけれども、小学生だと10人に満たないような参加者。次のページに中学生の長期休みの間の活動がありますけれども、1人とか2人とかというような活動参加人数で、1人で映画を見たりと

か、それから長崎の原爆資料館に行ったりとか、それからバッティングセンターに行ったり、たこ焼きを作ったりとかということで、もっと何か逆に人数が多くないと、この1人がかわいそうだなというふうに思ったりするんですが、この参加状況は、もう大体この程度で推移するというふうに今のところ見てあるのかということと、あともう一つ、この促進学級、児童館に来ている子どもたちの中で、学校に行けてない子がいるのか、学校には行けないけれども、この児童館には来れているという子がいるのかということだけ教えてもらっていいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井本正彦） お答えいたします。

南児童館につきましては、人権センター条例に基づきながら業務を行っているというところでありまして、遊びや学習を通して対象児童や保護者に対して、生活そのものの指導とか支援を行っているという施設でございます。

人数については、児童の数自体も若干、そこまで極端に減ってはいませんが、利用状況としてはそういう状況ではあります。指導員のほうで参加呼びかけを行っているというところではあります。

あともう一つが、児童館に通っているお子さんの不登校の状況ですね。不登校になっているお子さんは、児童館の児童・生徒の中にはいないということで把握はしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、226ページ、特別支援教育費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） すみません、私ちょっと一般質問で聞きそびれたもので、細目002特別支援学級運営費の中で、デイジー教科書の利用状況についてちょっと教えていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 本市では今現在2校で活用いただいております。太宰府小学校と国分小学校で活用いただいているところでございます。

人数とかもですか。太宰府小学校は39名、それから国分小学校では1名の児童が使っていただいております。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、5目幼稚園費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、ここで14時20分まで休憩いたします。

休憩 午後2時11分

~~~~~ ○ ~~~~~

再開 午後2時20分

○委員長（陶山良尚委員） 再開します。

（「委員長」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） ちょっと待ってください。先に回答がありますので。

そしたら、観光推進課長。

○観光推進課長（西山英毅） 7款の商工費の観光費について訂正がございます。小島委員からご質問いただいたラジオの出演者の件であります。AM、FMラジオいずれも、市長は全て出演されておりますが、AMの収録番組については応援大使高田課長様にも出演いただいております。

以上、訂正させていただきます。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 先ほど小島委員さんのほうから、221ページの学校教育運営費の報酬の不用額が大きかったということで、その要因をとということでご質問いただいた件でございます。理由といたしましては、特別支援学級の支援員さんですけれども、予算段階で見込んでいた人数よりも少ない人数で適正配置ができましたものですから、このような結果になったということでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） そうしましたら、笠利委員、戻ります。

○委員（笠利 毅委員） 直接にはどこでもいいんですけども、225ページのところです。人権講座ひまわりがありますけれども、すみません、ちょっと直接これとは関係ないかもしれないんですけど、お尋ねしたいんですけども、以前、色覚障がいの方の人権講座ひまわりがあったときに、ペンライトが特殊なものが使われていたんですよ。私が色覚障がいがあるので、その後、太宰府市の様々な講演でペンライトというんですか、使われても、光が見えないんですけど、市のほうで講座でプレゼンテーションを展示するときに、そういうライトを使うような工夫とかというのは進めてみようとしたことなどあるのでしょうかということをちょっとお聞きしたくなりまして。

○委員長（陶山良尚委員） 分かります。ちょっと課が違う。

社会教育課長。

○社会教育課長（井本正彦） 人権講座においては、そのようなものは現在のところ使ってないと把握しております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 全然、見ていて、私などは違いましたので、ぜひ検討していただければ



助かる人がいるのではないのかなと思いますので。ちょっと関係なかったんですけども、申し訳ありませんでした。

○委員長（陶山良尚委員） それでは、228ページ、2項小学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。ずっと行きますと、234ページまでですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目教育振興費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、同じく234ページ、3項中学校費、1目学校管理費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 審査資料26ページ、27ページです。中学校完全給食の事業が令和4年度から始まって、今のところ実績としては中学校給食の基本方針及び実施方針を決定したところで、給食調理配送等業務委託で、プロポーザル方式で日米クックさんが契約をしたというところなんですけど、もう来年の1月に給食実施ということなんで、その後の実施までのフローをいただきました。それが27ページです。27ページで、これ真ん中に市ですよ。その下に中学校がありまして、周りに物品納品業者、給食委託業者と工事業者と太宰府市民、保護者という形で登場人物的なものが配置されているんですけど、それぞれのこの進捗をお聞きするタイミングがないんで、今の段階での進捗をちょっとご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 現在の進捗ということでございますが、現在は、工事関係でいきますと、配膳室の工事が4中学校で取りかかっておりまして、ほぼ終わりに近づいているというような状況でございます。それから、学校においては、夏休み期間を利用しましてアレルギー対応、生徒さんのアレルギーの有無とかそういったことを調べていただいている状況でございます。それから、備品等の購入につきましては、昨年度契約したのもございますが、10月の末までに期日までに納めていただく分もあります。既に購入して、10月末頃までに納めていただくというようなことで予定をしているところでございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そしたら、一番右側の太宰府市民、保護者等に対するこれ情報提供なんですけれども、食べると通信という形で情報発信をされていると思うんですけど、お聞きしたいのは、来年の1月から3か月は給食費無料と、無償化という形で今議案が上がってきておりますけれども、それも含めたところで、中学校給食の給食費というのが、ちょっと私は気になるところなんですけれども、そこら辺の情報発信とかが必要だと思いますが、それについてはいかがでしょうか。

（「それは決算審査ですか」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） これは中学校の給食費の周知がということでよろしいでしょうか。

給食費につきましては、学校給食会という組織で決定をさせていただいているところでございます。中学校の給食においては、月額5,950円で予定をしております。そのことについては、各学校にもお知らせしております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですか。

ほかにはありませんか。よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2目教育振興費について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 準要保護・要保護生徒数の認定者数は増えているんですけども、支給金額が200万円余り減っているというのがちょっとよく分からないので、ここにちょっと説明を入れていただきたいんですが。

○委員長（陶山良尚委員） 学校教育課長。

○学校教育課長（鳥飼 太） 昨年度、給食費の補助をさせていただいておりました。就学援助で支払うものを扶助のほうから払っているので、その分が減ったというようなことでございます。

（小島真由美委員「分かりました」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4項社会教育費、1目社会教育総務費について質疑はありませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 243ページの007、いいですか。違いましたか。

○委員長（陶山良尚委員） 243ページ。いいですよ。

○委員（神武 綾委員） 243ページの007家庭教育学級等運営費なんですけれども、事務報告書の58ページ、家庭教育学級のこの目的は、家庭における教育力の育成、支援策として開設するというので、親自らに関する内容、地域社会に関する内容の学習をするというようなものなんですけれども、各中学校、小学校に学級がありまして、親御さん、保護者さんが登録をして学習するということになっているんですけれども、交流をするということになっているんですけれども、人数が学級生数が4人だったりとか1人とか、太宰府西小とかゼロですね、参加する方がいらっやらないとか、こういう状況で、私も以前は小・中学校に子どもがいるときは参加していましたけれども、これからの方向性とかというのはどうなるのでしょうか。これを存続させていくのか、もうちょっと違う方向で変えていこうとしているのか、何かそういうのを

し検討されていることがあったら、ちょっと教えていただきたいなと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井本正彦） 家庭教育学級につきましては、各小・中学校の校長会等を通して校長先生方をお願いをしているところではあります。今年度ですが、開校式に小・中学校の校長先生を来賓でお呼びしてということで、そういう学校に周知を図るところで会員数を増やす取組は始めたところであります。若干コロナ禍において減少傾向ではありましたが、また増やす予定であります。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

船越委員。

○委員（船越隆之委員） 241ページの003いきいき情報センターの管理運営費の中で、委託料とか、あと工事が前年から比べたら800万円、何百万円か上がるとは思いますが、ここをちょっと教えていただけますか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（堀ノ内龍治） 委託料でございますが、いきいき情報センター1階のフリースペースの警備員の増、それからあそこのエスカレーター保守点検の増になっております。金額でいいますと、フリースペースが115万5,000円、エスカレーターの保守点検が31万3,000円となっております。

（船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 関連して、いきいき情報センター管理運営費なんですけど、併せてこれ事務報告書の57ページ、いきいき情報センターの管理運営費のいきいき情報センター利用人数なんですけど、これワクチン接種会場になったからだと思うんですけど、コロナ前の令和元年度に比べて年間10万人ぐらい、当然利用者がいないんですけどね。令和元年度は16万4,221人、令和4年度は6万5,559人だから、約10万人減なんですけど、ここら辺の部屋貸しの賃料とか自主事業ができなかったと思われるんですけど、これコロナの会場になったということで、コロナワクチンの借り上げで何かしらの賃料が発生して、それが当たっているんで、特に運営については問題なかったような気もするんですけど、そこら辺のこの10万人減に対する運営状況、これについてちょっと分かる範囲でお答えいただきたいんですけど。

○委員長（陶山良尚委員） 文化学習課長。

○文化学習課長（堀ノ内龍治） 確かに施設の使用料とかでは減があったかと思いますが、確かに委員言われましたように、逆にコロナのワクチン施設使用料ということで、収入はあっておりますので、特に問題はないかと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかには。

今泉委員。

○委員（今泉義文委員） 241ページの細目004の大学交流事業費の25寄附金、人道支援金、こちらがどのあたりの窓口に出されているのかとか、その先どういうふうな使い方をされているのかというのが分かれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 国際・交流課長。

○国際・交流課長（松井百合子） 日本経済大学さんがウクライナの避難民学生さんを受け入れて、それに賛同しまして、太宰府市のほうがふるさと納税を利用したガバメントクラウドファンディングを行いまして、その窓口は経営企画課になりますが、日本経済大学さんということで、人道支援金を贈呈させていただいたのは国際・交流課が窓口となっております。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、242ページ、2目青少年教育費について質疑はありますか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 245ページの005地域学校協働活動推進費についてなんですけれども、審査資料の31ページで、この地域学校協働活動というのも予算のときに重点項目で上がっていたんですけれども、令和4年度は太宰府西小学校と太宰府東小学校で実施したということで、今年度も1か所増えるというようなお話は聞いているんですけれども、これでこの事業に関わった方々の人数なんですけれども、学校の地域コーディネーターの方、コミュニティ・スクールの中の地域コーディネーターさんが関わっていたりとか、あと地域の指導者、学生ボランティア、保護者とあるんですけれども、学校の教職員の方も関わってあるということで、教職員のこの事業に参加するときの補償、残業代というんですか、何かそういうことは発生するのかということ、これは学校と地域が一緒になってという活動だと思うので、学校の先生も入るかと思うんですけれども、これは関わり方としてはどういうふうな関わり方をするのかということ、これを教えていただいてもいいでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井本正彦） 放課後子ども教室というふうに申しておりますが、地域学校協働活動としての取組の内容でございますね。教員の方ですが、学校の時間中でございます、具体的な詳細な時間については、3時から4時半までということになりますので、時間外が発生しているところではないというふうなところでございます。

それと、協力の仕方ですね、すみません。実際、この放課後子ども教室をやっているのが、図書館とかを利用させていただいているというところがございます、その図書館の利用に際してご協力をいただいたり、あと様子を見に行くというところですね。教職員の関わりとして

はそういったところかなと、子どもたちの誘導だとかそういったところになります。主としては、この地域コーディネーターさんを中心としてというところでございます。

以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） じゃあ、この決算額の108万5,338円というのは、このコーディネーターさんとか指導者さんに対する謝礼ということでよろしいのでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 社会教育課長。

○社会教育課長（井本正彦） そうでございます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3目青少年対策費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、4目図書館費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、246ページ、5目公民館費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、248ページ、6目文化財整備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、250ページの7目文化財活用費について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 予算審査資料が3ページ、4ページです。文化財3D複製資料の製作について資料をいただきました。それで、一応4点ほど3Dで複製をしていらっしゃるんですが、これは2番と3番、すごくこれ金額がえらい違うんですね。委託の状況を見たら、委託先によってかなりこの金額が違うようなんですけれども、ここら辺の詳細な、複雑さで違うのかもしれないけれども、この委託費のこの違いについてご説明いただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（山村信榮） これにつきましては、データ化するための前提となる資料を提供したかしてないか、ゼロから本物をスキャンしてデータを作っていくというやり方と、我々が既存で入手した3次元のデータをお渡しして、現物をプリントしていただくということかと、そういった手順の違いによって金額の差が出ているという状況はございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） ちなみにデータの3D化というんですか、それはもう本市自前で何かしらの機器で3Dデータを取り込むことができるんですか。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（山村信榮） 令和4年度の実態としては、自前ですることはできておりません。既存のものについては、文化財技師等が自前で製作したものを使用したりということで、委託料を下げたりとかということで実施している状況はございます。高い金額の分については、ゼロから業者にデータを作るというところからしてもらったといった状況はございます。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） それを利用して、これ写真を見ると、市民向け、子ども向けの体験イベントとかやっていますけれども、これ印象というか、参加した方のご感想とか何かあれば教えてください。

○委員長（陶山良尚委員） 文化財課長。

○文化財課長（山村信榮） 実際、ふれあい館のエントランスホールで、デモということで3Dでプリントアウトする様子、それからこちら写真にちょっと小さく写っておりますが、画面で3次元データを子どもたちに触らせて、くるくる回したりだとか、違う角度から見たりとかといったことをしておりますけれども、存外にデータを扱うほうに子どもは非常に興味を示しておりました。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、252ページ、8目文化財調査費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） そしたら、256ページ、5項保健体育費、1目保健体育総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、258ページ、2目施設管理運営費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、260ページ、11款災害復旧費に入ります。

1項文教施設災害復旧費、1目文化財施設災害復旧費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは次に、2目学校施設等災害復旧費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、2項農林水産業施設災害復旧費、1目農業用施設災害復旧費並びに2目林業施設災害復旧費、続けていきますね、3項の公共土木施設災害復旧費の1目

道路橋梁災害復旧費並びに、次のページ、2目河川災害復旧費、そして4項その他公共施設・公用施設災害復旧費、1目の衛生施設災害復旧費並びに2目の緑地等災害復旧費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、12款公債費に入ります。

1項公債費、1目元金、2目利子について質疑はありませんか。

小島委員。

○委員(小島真由美委員) 地方債の借入状況はここでいいですか。全体的なことですかね。

○委員長(陶山良尚委員) ここでも。全体でもいいですけども、最後。

○委員(小島真由美委員) 事務報告書の68、69ページなんですけれども、ここでよかったですかね。眼鏡かけてなかったんで、すみません。

地方債の借入状況でちょっとお聞きしたいことがあったんですが、68ページの一番下なんですけど、この史跡地の公有化事業の中で、福銀から令和5年3月31日に2億5,000万円借りているんですが、利率が0.406、10年で2年の据置期間もあって、大体これあと2か月ぐらいで0.3%ぐらいで借りれる感じじゃなかったのかなとかも思ったんですが、これ福銀でこの利率が一番有効だということで、こんな借入れ方になったんでしょうか。

○委員長(陶山良尚委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(宮原 竜) お見込みのとおりでございます。

○委員長(陶山良尚委員) 小島委員。

○委員(小島真由美委員) これは他銀行とかとの入札というか、これはやり取りはあつての上で、金額も結構大きい金額のやり取りなので、もうちょっと利率が低くてもいいかなとも思ったんですが、やっぱりこの利率が一番妥当だったんですかね。

○委員長(陶山良尚委員) 経営企画課長。

○経営企画課長(宮原 竜) 幾つかの銀行から入札といいますか、見積りを取りまして、有利なところで借りているという、その時々条件というのは変わってきますが、原則としてそのような競争で決定をしているという状況でございます。

○委員長(陶山良尚委員) よろしいですかね。

それでは、14款予備費、1項予備費、1目予備費について質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは、歳出全般についての質疑を行いまして、歳出の審査を終わりたいと思います。

質疑はありませんか。

(船越隆之委員「ちょっと聞き忘れた」と呼ぶ)

○委員長(陶山良尚委員) 船越委員。どちらですかね。

○委員(船越隆之委員) すみません、まず総務費いいですか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務費、何ページですかね。

○委員（船越隆之委員） ページ数は95ページ。95ページの003、これ、委託費の採点業務委託料が前年から比べたら45万円ぐらい下がっているんですけども、これはどういう内容でしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 総務課長。

○総務課長（佐藤政吾） こちら、95ページの採点業務委託料が令和3年度と令和4年度を比べまして減になった理由でございますが、こちらの採点業務は、専門職の採用試験の委託料になってまいります。令和4年度は建築技師、土木技師、保育士、3つの専門職を募集いたしました、受験者は15名でございます。前年度の令和3年度に関しましては、建築技師、保健師、栄養士、保育士、文化財技師、5つの専門職で受験者が84名いました。そういった受験区分の減、受験者の減に伴いまして、令和4年度減額となっている状況でございます。

以上です。

（船越隆之委員「ありがとうございます」と呼ぶ）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、歳入に入ります。

30ページ、1款市税から入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、32ページ、2款地方譲与税について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、3款利子割交付金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、34ページですね、これはまとめていきます。4款配当割交付金並びに5款株式等譲渡所得割交付金、6款法人事業税交付金、7款地方消費税交付金、8款ゴルフ場利用税交付金、そして9款環境性能割交付金まで、これまでにについて質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、36ページですね。10款地方特例交付金、11款地方交付税、12款交通安全対策特別交付金、そして13款分担金及び負担金まで質疑はありませんか。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページ、38ページですね、14款使用料及び手数料について質疑はありませんか。これがずっと行きますね。ずっと行って46ページまでですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、15款国庫支出金について質疑はありませんか。



笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 15款全部に関わって。

○委員長（陶山良尚委員） 15款全体いいですよ。

○委員（笠利 毅委員） 50ページ、51ページの15款2項1目の最後ですね。総務管理費補助金のところの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のところのことで、決算審査資料の5ページ、6ページですね。一覧を出していただいたんですけども、これでちょっと質問があるんですが、この一覧は、恐らく公表が義務づけられている新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業の効果検証の表に当たると思うんですけども、令和2年度と令和3年度の方は見てきたんですが、令和4年度分のこの効果検証というのが公表されるのはいつ頃になるんだろうかということと、決算の時点ではまだできていないのかというのが1つですね。まずそれをお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 委員ご指摘のとおり、令和3年度分までは既に公表をさせていただいておりまして、令和4年度分につきましては、これが翌年度中に公表ということになっている関係と、またもろもろ整理の関係がございまして、今整理の途中ということで、本年度中には公開をする予定で進めているところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 分かりました。まちによっては9月の決算に間に合うように出しているというふうに聞いたものですから、ちょっとお尋ねしました。それがあったほうが、具体的な内容とかがよく分かるので、いいのかなと思ったんです。

それと、前年度分等と見比べると、幾つかは、例えば図書館パワーアップ事業とか同じ名前の事業が続いているものもあるんですけども、現時点で、この臨時交付金がなくなっても続けていくような腹積もりといたしますか、これは効果があったなというようなものがあれば教えていただきたいというのが1つと、あともう一つは、これ過去2年分を見ると、学校教育課が担当になっているものと、あと子育て支援とかかな、交付金が占めている割合が半分以下ぐらいになっているものが、学校教育関係と子育て支援とか元気づくり課関係のものが多いんですね、ぱっと見たところ。県の補助金とかも入るからというようなこともあるかと思うんですけども、ちょっとその辺の事情を少し説明していただければと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 今後の見通しというところで、なかなか難しいところはございます。コロナ交付金が今後どうなるかというところ。今のところはまた追加といたしますか、そういうのがあるというような情報も来ておりませんので、ただご指摘のとおり、子育て、教育、そういったところに充てているというところはあります。一旦始めると、なかなか中止すると影響があるというような事業も幾つかございますので、そういったところは十分加味しながら

ら、来年度の予算編成、そのあたりの過程でしっかり検討していきたいと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 検証を公表するときには、その辺、書き込まざるを得なくなってくるかもしれないと思うので、重々検討していただければ。言われたように、始めたらやめにくいものもあるかと思しますので、検討をよろしくお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、56ページ、16款県支出金について質疑はありませんか。ずっと行きまして、68ページまでですね。

よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、68ページ、17款財産収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、次のページですね、18款寄附金について質疑はありませんか。

木村委員。

○委員（木村彰人委員） 決算書70、71ページのこれがふるさと太宰府応援寄附金12億7,000万円の件なんです。審査資料のほうは7ページです。ふるさと太宰府応援寄附の分析として、これ、寄附者の属性とか売上額上位10品目、寄附額、そこら辺のデータはもらったんですけども、この12億7,000万円、これ右肩上がりが増えていてということで非常に喜ばしいことなんですけれども、この増えている理由というのはこのデータからちょっと読み取れそうなんですけれども、ここら辺の説明をいただけたらと思います。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） 増えている理由ということですが、一番下のところに書いてございますが、拡充した新規返礼品が寄附を集めたこと、それからポータルサイトを2つ増設したこと、あとはいろいろノウハウがあるんですが、ウェブ広告といたしまして、ポータルサイトで検索したときに上位に表示されるような様々な新たな取組、そういったものをやっております。それから、ベースとしまして、やはりふるさと納税のパイの市場の伸びという、全国的な、それから本市におきましては、有名な観光地ということでの全国的な知名度という強みはあるかなと思っております。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） そうなんですよね。特産品というよりも、あまおうとか豚骨ラーメン、

もつ鍋、辛子明太子、これがほぼほぼベストテンなんですね。寄附の返礼品というよりも、これ、効果的なプロモーションというのが非常に増額に寄与しているというふうな結果が出たと思います。私もちょっと意外でした。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） ほかに。

笠利委員。

○委員（笠利 毅委員） 同じところですけども、効果的なプロモーションということでちょっとお尋ねしたいんですけども、ちょうど昨日なんですけれども、北海道の白糠町の職員さんのインタビューというのが「AERA」だったかな、で読んだんですね、昨日の日付だったと思います。ふるさと納税のリピーターをしっかりとつなぎ止めるために、きめ細やかな情報発信というのを頑張っているというような記事だったんですけども、白糠町は数年前だったと思いますけれども、白糠町の製品をブランド化するために頑張った職員さんというのがまた別にいたそうなんですね。

今木村委員がちらっと言われましたけれども、現在のところ太宰府ならではの商品が上に並んでいるとは必ずしも言えない段階で、「梅」プロジェクトは動いていて、そのうちここに上がってくるかもしれませんけれども、別のページにあったような製品が。リピーターをつなぎ止めるための、先ほども出てきたシティプロモーションといったようなものとも関連してくるかもしれませんけれども、何かしら繰り返し太宰府市に寄附をしてくださって、たしか春に言われていたように10億円のラインはキープしたいということでしたので、そのための工夫として考えているようなことがあれば、ちょっとお知らせいただければと。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） リピーター獲得というのはかなり重要なことだと非常に思っておりまして、太宰府市におきましては、お礼のはがき、これを毎年寄附した方にお送りをいたしております。これが基本的な取組になります。あと、サイトによって、ご本人が希望されてメールマガジンとかを登録される方、こういった方にはメールでお知らせができますので、そういったものも送っております。それから、令和5年度からの新たな取組にはなっていますが、ポータルサイトで寄附をされた方で口コミを書きただけの方が時々いらっしゃいます。評価を5とか4とか。そういった方にお一人お一人職員がお礼の感謝の気持ちを返信すると、そういった取組を始めたところでございます。

以上です。

○委員長（陶山良尚委員） よろしいですかね。

そしたら、先に馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） また同じところなんですけれども、中を全部結構見ましたら、ラインナップされているものですね、地元の企業さんとか業者さんもたくさん起用されていると思うんですけども、今後例えば地元企業さんとか業者さんの新規参入に関しては、どのような形で

ご依頼して、どんな形でラインナップになっていくんでしょうか。

○委員長（陶山良尚委員） 経営企画課長。

○経営企画課長（宮原 竜） これは市内市外問わずなんですが、特に市内の事業者さんには積極的に登録していただきたいと思っていて、まず私たちとしましても、商工会等と情報交換しながら、常に門戸は開いて、ご相談があれば丁寧に対応するとともに、サイトの掲載等についても優先的にやっております。

また、新たな店舗とか事業者ができたという話を聞いたら、職員自ら足を運びまして、商談といたしますか、ふるさと納税やってみませんかというような形でお声かけをしたり、様々取組をしておりますので、やりたいというお気持ちがあれば、いつでも相談に乗ってできるようになっておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 馬場委員。

○委員（馬場礼子委員） ぜひやりたいというところが二、三件ありますので、ご相談に上がるように伝えます。ありがとうございます。

○委員長（陶山良尚委員） タコスキッド委員。

○委員（タコスキッド委員） すみません、要望までいかないんですけども、感想的な感じで、関連です。ふるさと納税で本市の税収も増えているんですけども、本市の方のふるさと納税の利用される方もすごく昨年度増えています。どうしても楠田市長が至るところでふるさと納税、ふるさと納税と言われるので、ある意味、逆の宣伝になって、太宰府市民の方も、ああ、ふるさと納税ってお得なんだなってなっているような気もするので、何かそこら辺も若干気にしていますというところをお伝えしておきます。

○委員長（陶山良尚委員） ほかにありませんか。よろしいですかね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、72ページ、19款繰入金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、20款繰越金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、74ページ、21款諸収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、76ページ、22款市債について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、歳入全般についての質疑を行いまして、歳入の審査を終わりたいと思います。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（陶山良尚委員） それでは、歳入歳出全般についての質疑を終わります、264ページ

ですね、実質収支に関する調書に入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは次に、369ページ、財産に関する調書に入ります。

369ページから393ページまでについて質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) それでは次に、395ページ、基金の運用状況調書に入ります。

395ページから397ページまでについて質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) これで質疑を終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 以上で質疑を終わります。

ここで意見交換を行います。ご意見はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第1号「令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(多数挙手)

○委員長(陶山良尚委員) 多数挙手であります。

よって、認定第1号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成16名、反対1名 午後3時05分〉

○委員長(陶山良尚委員) 以上、本会議において報告します。

以上で決算特別委員会に付託されました認定第1号の審査は終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(陶山良尚委員) ここでお諮りします。

本会議における決算特別委員会の審査報告は、当委員会が全議員で構成され、具体的な審査内容については後日会議録が作成されることから、要約報告とし、内容につきましては委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(陶山良尚委員) 異議なしと認め、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。  
閉会 午後 3 時06分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

令和5年11月14日

太宰府市決算特別委員会委員長 陶山良尚